

新潟県立看護大学 自己点検評価報告書

－専任教員の活動業績－

平成25年3月



新潟県立看護大学
Niigata College of Nursing

1 研究、社会及び学内教育活動業績

(1) 制作要件

「研究活動」と「社会活動」及び「学内教育活動」について、平成24年4月から25年3月までの1年間の期間について、本学の在職各教員から申告のあった国内外における活動（業績）の一覧である。

ア 25年3月末日までに退職ないし転職している教員のものは含まない。

イ 原則として、各教員が提出されたものを修正せず掲載する。

ウ 掲載の順番は科目群順とし、個人は職位順ついで採用順に掲載する。

エ 掲載に際して職位名等は入れず、氏名のみを表示とする。

オ 平成25年4月以降7月現在までに着任した専任教員の業績についても、ウに従って掲載する。

(2) 活動業績掲載順

<p>【共通科目】</p> <p>I 人間環境科学領域……………p 4</p> <p>橋本 明浩 中村 博生 藤田 尚 徐 淑子 渡辺 弘之 永吉 雅人 エルダトン・サイモン</p> <p>II 生物医学領域……………p 16</p> <p>関谷 伸一 境原 三津夫</p> <p>【専門科目】</p> <p>III 基礎看護学領域……………p 20</p> <p>坪倉 繁美 水口 陽子 岡村 典子 河野 優子 内藤 みほ</p> <p>IV 臨床看護学領域……………p 26</p> <p>加城 貴美子 石田 和子 酒井 禎子 高柳 智子 山田 正実 大久保 明子 高島 葉子 飯田 智恵</p>	<p>小林 綾子 菊地 美帆 郷 更織 山田 真衣 渡邊 千春 竹原 則子 中澤 紀代子 北村 千章 石岡 幸恵 高塚 麻由 鬼形 充智</p> <p>V 地域生活看護学領域……………p 49</p> <p>平澤 則子 小泉 美佐子 原 等子 飯吉 令枝 田口 玲子 高林 知佳子 後田 穰 片平 伸子 藤川 あや 櫻井 信人 角山 裕美子 加賀美 亜矢子 井上 智代 安藤 亮 野口 裕子 川里 庸子</p>
--	--

I 人間環境科学領域

橋本 明浩

【研究活動】

1. 原著論文

(雑誌掲載論文)

須藤陽子, 内宮律代, 飯田智恵, .. 橋本明浩 (2012) : 看護師の学び直しプログラム “バーチャル・カレッジ” のシステム開発と課題, バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌, 14(2), 69-75.
査読有

2. その他の論文

3. 著賞

4. 学会発表

- Iida C., Sudo Y., Hashimoto A., (2013.2.23) : Evaluation of Re-Learning Program on Physical Assessment of the Respiratory System for Nurses, EAFONS2013, Bangkok, Thailand.
- Okazaki S., Hara N., Hashimoto A. (2013.2.23): Analyzing the Effect of Green Tea Leaf Treatment for Hand Contracture, EAFONS2013, Bangkok, Thailand.
- Mizusawa H., Irie S., Naito M., Hashimoto A. (2013.2.22) : A Simple Method Estimating Incident Rate of Infection in Facilities Covered by Long Term Care Insurance, EAFONS2013, Bangkok, Thailand.

5. その他の研究活動

原等子, 田口令子, .. , 橋本明浩 (2013) 新潟県立看護大学看護研究交流センター活動報告書, 16-33.

【学会等における活動】

日本看護科学会科学会, 公衆衛生学会, 情報処理学会会員

【社会活動】

上越市ケーブルテレビ施設譲渡先事業者選定副委員長 (H24.6-H25.3)

【学内教育活動】

学部

- 情報処理演習
- 情報科学
- 保健統計演習
- ふれあい実習
- 基礎ゼミ

大学院

- 看護情報統計

【学内委員会等の活動】

情報ネットワーク特別委員会(委員長)

情報ネットワーク実行部会(副委員長)

図書委員会(副委員長)

看護研究交流センター 看護職支援部門

【外部資金獲得】

なし

中村博生

【研究活動】

1. 原著論文

Nakamura, Hiroki (2012) : The Impact of Background Knowledge and Linguistic Knowledge Obtained in Pre-Learning Reading Ability of Japanese EFL Readers Aimed at Interactive Reading Performance, Language Education & Technology, 49, 197-213. (査読有)

2. その他の論文・・・なし

3. 著書・・・なし

4. 学会発表・・・なし

5. その他の研究活動・・・なし

【学会等における活動】

関東甲信越英語教育学会 理事

【社会活動】

上越市子どもの権利委員会委員

【学内教育活動】

1. 学部・・・
 - ① 英語ライティングⅠ、英語ライティングⅡ、英語ライティングⅢ、英語ライティングⅣ
 - ② 英語リーディングⅠ、英語リーディングⅡ、英語リーディングⅢ
 - ③ 基礎ゼミナール TOEICゼミ
 - ④ ふれあい実習
2. 大学院・・・
 - ① 文献講読

【学内委員会等の活動】

1. 教育研究審議会 (委員)
2. 入試実施本部 (副委員長)
3. 入試・広報委員会 (委員長)
4. (学部入試)出題委員会 (議長兼委員)
5. 国際交流委員会 (委員)
6. FD委員会 (委員)
7. 研究科委員会 (委員)
8. 入学小委員会 (委員)
9. (大学院入試)出題委員会(委員)

【外部資金獲得】・・・なし

【研究活動】

1. 原著論文

- Hisashi Fujita (2012): The number of missing teeth in people of the Edo period I Japan in the 17th to 19th centuries, *Gerodontology*, 29, 520–524. (査読有) impact factor: 1.828.
- Hisashi Fujita (2013): Stab Marks Possibly from a Spear (Yari) on a Skull Excavated from the Mediaeval Zaimokuza Site, Kamakura City, *International Journal of Osteoarchaeology*, 23, 112–118. (査読有) impact factor: 1.085.

2. その他の論文

3. 著書

- 藤田 尚 (2012年) : 古病理学事典 (初版) , 同成社, 東京
- Fujita, H. (2012): Periodontal Diseases in Anthropology. In: Periodontal Diseases - A Clinician's Guide, ISBN 978-953-307-818-2, Book edited by: Jane Manakil, Croatia.

4. 学会発表

- Fujita, H. : Nukdo and Yean-ri human skeletal remains from a paleopathological perspective ” and “ spread of agriculture to Japan. Title of Session: Anthropological and archaeological studies on the relations between South Korea and Japan from the Early Iron Age to the Three Kingdoms of Korea. 5th Society of East Asian Archaeology 2012, Fukuoka, Japan (セッションオーガナイザー&パネリスト)
- 藤田 尚 (2012年) : 「日本人の喪失歯数の歴史的変遷」, 第23回日本老年歯科医学会大会, 筑波市
- Fujita, H., Nia Gianannkopoulou, Suzuki, T (2012) : A case of Klippel-Feil Syndrome in South Korea dated 2100–2000 years ago. The 19th European meeting of the paleopathology association, Lille, France August 27 - 29.
- 藤田 尚 (2012年) : 「江戸時代人の歯から現代を視る」, 第66回日本人類学会歯の分科会シンポジウム, 横浜市

5. その他の研究活動

- ケンブリッジ大学客員研究員
- 東京大学大学院理学系研究科客員共同研究員
- 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター協力研究員
- 韓国調査 (ソウル大学校医科大学, 全北文化財研究院, 韓国文化財保護財団, 西海文化財研究院)。以上の大学・研究機関の古人骨の人類学的調査。科学研究費補助金, 『韓国出土古人骨への自然人類学的総合アプローチ』研究代表者: 藤田 尚 (基盤研究B) 平成24年11月18日–22日
- モンゴル国調査 (モンゴル国立大学, ウランバートル大学等) の所蔵古人骨の実見と将来的な研究協力体制の確立。平成24年11月30日–12月6日

【学会等における活動】

- 日本人類学会会計監査役
- 日本老年歯科医学会代議員

- ・日本旧石器学会幹事（研究企画委員・編集委員）
- ・日本人類学会遺伝分科会幹事

【社会活動】

- ・東京大学理学部非常勤講師
- ・早稲田大学人間科学部非常勤講師
- ・早稲田大学大学院人間科学研究科非常勤講師
- ・千葉大学文学部非常勤講師
- ・厚生労働省厚生科学審議会専門委員
- ・東京都練馬区行政評価委員会委員

【学内教育活動】

- ・自然人類学
- ・基礎ゼミナール
- ・ふれあい実習
- ・人類学特論(大学院)

【学内委員会等の活動】

- ・FD 委員会委員長
- ・研究推進委員会委員
- ・ハラスメント防止委員会委員

【外部資金獲得】

- ・藤田 尚(研究代表者) 科学研究費補助金「基盤研究 B(海外学術)」平成 24 年度取得金額:2,000 千円(直接経費)、600 千円(間接経費)

徐 淑子

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

なし

3. 著書

なし

4. 学会発表

なし

5. その他の研究活動

徐淑子(2012): 健康教育・患者教育の見地からみた日本の依存症ケアとサポート, 第5回 「女性と回復」プログラム研究会, 2012年10月26日, 東京.

徐淑子(2012): 健康教育のメッセージをよりよく届けるために, 第4回 「女性と回復」プログラム研究会, 2012年9月28日, 東京.

【学会等における活動】

日本保健医療行動科学会, 日本健康教育学会, 日本アルコール問題関連学会, 日本エイズ学会, 日本精神保健福祉士協会.

【社会活動】

なし

【学内教育活動】

(学部) 基礎ゼミナール2、ふれあい実習、保健・医療行動科学
(大学院) 健康社会学

【学内委員会等の活動】

研究推進委員会(委員)、入学小委員会(委員)

【外部資金獲得】

なし

渡辺弘之

【研究活動】

1 原著論文

- 渡辺弘之：ベトナムのハンセン病村の子どもたちの被差別経験と葛藤、グローバル人間学紀要、第4号、101-129. (査読付き)

2 その他の論文

3 著書

4 学会発表

- 渡辺弘之（平成24年11月4日）：ベトナムのハンセン病(元)患者の社会復帰を阻む要因、グローバル人間学紀要、第27回国際保健医療学会学術大会、岡山大学.

5 その他の研究活動

- 科学研究費基盤研究(C)の支援を受け、2012年8月にベトナムにおいてハンセン病患者および一般群のQOL調査を行った。

【学会等における活動】

【社会活動】

【学内教育活動】

- 学部1年：基礎ゼミナール
- 学部1年：ふれあい実習
- 学部1年：社会学
- 学部2年：社会福祉概論
- 学部4年：地域社会と住民組織

【学内委員会等の活動】

- 図書委員会委員
- ハラスメント防止委員会委員

【外部資金獲得】

- 文部科学省科学研究費基盤研究(C)、研究課題名「ベトナムにおける社会復帰が困難なハンセン病(元)患者のQOLと生活支援の研究」(課題番号24530705、平成24年-26年)

【研究活動】

1. 原著論文

- ① 水口陽子, 山田真衣, 永吉雅人, 小林綾子, 粟生田友子, 酒井禎子, 杉田収 (2012) : 森林セラピー及びノルディックウォーキング参加者の心身反応に関する研究—シルバー世代の反応—, 医学と生物学, 156(4), 212-218. (査読有)
- ② Masato Nagayoshi, Hajime Murao and Hisashi Tamaki (2012) :Developing Reinforcement Learning for Adaptive Co-construction of Continuous High-dimensional State and Action Spaces, Artificial Life and Robotics, 17(2), 204-210 (Revised Selected paper from ISAROB 2012). (査読有)

2. その他の論文

2-1. 国際会議

- ① M. Nagayoshi, H. Murao and H. Tamaki (2013) :Reinforcement learning for dynamic environment: a classification of dynamic environments and a detection method of environmental changes, Proc. the 18th International Symposium on Artificial Life and Robotics 2013 (AROB 18th' 13), 464-467 (GS9-4(on CD-ROM)), テジョン(韓国). (査読有)

2-2. 報告書

- ① 杉田収, 酒井禎子, 小林綾子, 水口陽子, 山田真衣, 永吉雅人, 城戸裕子, 平澤則子 (2012) : 特別研究部門活動報告, 平成 23 年度看護研究交流センター活動報告書, 36-61(分担執筆 50-54). (査読無)
- ② 永吉雅人, 澁谷長史 (2013) : TC15: 機械学習研究の最新動向—基礎から応用まで, 電気学会電子・情報・システム部門 News Letter2013 年 1 月号, 11. (査読無)

3. 著書

- ① Masato Nagayoshi, Hajime Murao and Hisashi Tamaki (2012) : Multi-Step Model of Switching Reinforcement Learning to Mimic Infants' Motor Development, Computational Intelligence (Computer Science, Technology and Applications), Editor: Alexandru Floares, 35-50(Chapter3), NOVA Science Publishers, New York. (査読有)
- ② 実応用を指向する機械学習技術調査専門委員会編 (2013) : 機械学習技術の基礎と応用, 電気学会技術報告, 第 1273 号(C 部門), 分担執筆 3.5 節(19-23), 電気学会, 東京. (査読無)

4. 学会発表

- ① 永吉雅人, 城戸裕子, 水口陽子, 山田真衣 (2012.8.25) : 『介護準備・学習』コースモニタツアの実施報告 -実施概要と参加者の感想-, 第 15 回日本福祉のまちづくり学会全国大会, I5B-4(on CD-ROM), 北九州. (査読無)
- ② 永吉雅人, 村尾元, 玉置久 (2012.9.7) : 強化学習における動的環境の問題クラスと環境変化の検出法, 平成 24 年電気学会電子・情報・システム部門大会, 581-585 (TC15-6(on CD-ROM)), 弘前. (査読無)
- ③ 永吉雅人, 村尾元, 玉置久 (2012.9.14) : 動的環境下での強化学習: 状態空間および行動空間の部分統合による適応の試み, 第 28 回ファジィシステムシンポジウム (FSS2012) , 79-84 (FG3-3(on CD-ROM)), 名古屋. (査読無)

- ④ 永吉雅人, 村尾元, 玉置久 (2012. 12. 1) : 緩やかに変化する環境での強化学習, 電気学会システム研究会, 7-12 (ST-12-012), 大阪. (査読無)

5. その他の研究活動

なし

【学会等における活動】

1. 学会会員

- ① システム制御情報学会
- ② 電気学会
- ③ 計測自動制御学会
- ④ 室内環境学会
- ⑤ 日本福祉のまちづくり学会
- ⑥ 日本知能情報ファジィ学会

2. 委員会

- ① 電気学会 電子・情報・システム部門 システム工学技術委員会
技術シーズ創出に向けた機械学習協同研究委員会 幹事

3. 査読

- ① Journal of Artificial Life and Robotics

4. 座長

- ① 2012.9.7: 電気学会電子・情報・システム部門大会 技術委員会企画セッション「TC15 機械学習研究の最新-基礎から応用まで」 午前の部 座長
- ② 2012.12.1: 電気学会電子・情報・システム部門システム研究会 「機械学習研究最前線—基礎と応用の螺旋的発展をめざして—」 第3セッション 座長
- ③ 2013.1.31: The Eighteenth International Symposium on Artificial Life and Robotics 2013 (AROB 18th' 13) 「GS9: Learning」 Session Chair

5. 受賞

- ① 2012.9: 平成23年電気学会電子・情報・システム部門大会 奨励賞

【社会活動】

- ① 上越市多発性硬化症患者の環境制御装置内の Mac パソコン構築ボランティア
- ② NPO 法人 新潟県難病支援ネットワーク 会員
- ③ NPO 法人 関川水辺クラブ 会員および後援 (新潟県立看護大学水研究サークル顧問として)
- ④ 看護研究交流センター公開講座 看護情報処理セミナー 講師 (2012.9.12)
- ⑤ 新潟経営大学 非常勤講師

【学内教育活動】

1. 学部担当授業

- ① 情報処理演習(B1, 前期, 必修)
- ② 情報科学(B1, 後期, 必修)

- ③ ふれあい実習(B1, 後期, 必修)
- ④ 基礎ゼミナール(B1, 通年, 必修)
- ⑤ 保健統計演習(B3, 前期, 必修)

【学内委員会等の活動】

- ① 学生委員会 委員
- ② 看護研究交流センター 特別研究部門 研究メンバー
- ③ 11期生(平成24年入学生) 学年担任
- ④ サークル顧問
 - (ア) 水研究サークル
 - (イ) ソフトテニスサークル

【外部資金獲得】

なし

Simon Elderton (エルダトン・サイモン)

【研究活動】

1. 原著論文

須藤陽子, 内宮律代, Simon Elderton, 原等子, 田口玲子, 山田正美, 井上智代, 橋本明浩 (2012) : 看護師の学び直し “バーチャル・カレッジ” のシステム開発と課題, バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌 14(2), 69-75

2. その他の論文

なし

3. 著書

なし

4. 学会発表

Sudo, Y., Uchimiya, R., Iida, C., Elderton, S., Hara, N., Taguchi, R., Yamada, M., Inoue, C., Hashimoto, A. (平成 25 年、2 月 21 日) The System Reconstruction of the “Virtual College” Recurrent Educational Program for Nurses, (16th EAFONS, Bangkok, Thailand, Poster 135)

5. その他の研究活動

Simon Elderton 研究教材の翻訳 (和英) (論文・企業研究・医療機関)

新潟県立看護大学の多くの教員の多数の研究の英文要旨等の翻訳 (H. 24 年度で 20 件以上)

【学会等における活動】

学会等会員

- ・ JALT (全国語学教育学会) (所属 SIG : PRAG, CALL, CUE, Bilingualism)
- ・ 日本生命倫理学会
- ・ ECHO 会 (上越中学校の英語教員の会)
- ・ T-E-GETPORA 会 (上越小学校英語担当教員の会)
- ・ JETAA (JET プログラム同窓協会) (関東甲信越部)

【社会活動】

Simon Elderton (担当者・指導者) 英語に楽しむ会, 糸魚川市能生地区の一般の人向けの英会話シリーズ (能生地区公民館, 平成 23 年 8 月~11 月)

Simon Elderton (H. 24 年 12 月) 私立上越高等学校入学試験英語出題コンサルタント

【学内教育活動】

担当した授業科目名 :

英語コミュニケーション A I、B I、A II、B II、III、IV

英語リーディング IV

基礎ゼミナール (エッセイ・ライティング)

ふれあい実習

【学内委員会等の活動】

学生委員会（委員）

2年次学年担任

平成 25 年度 3年次編入学試験出題委員会(委員・英語出題者)

平成 25 年度 推薦・社会人入学試験出題委員会(委員・英語出題者)

平成 25 年度 大学院入学試験出題委員会(委員・英語出題者)

【外部資金獲得】

水澤久恵(研究代表者), Simon Elderton (研究協力者) 看護専門職の「倫理的価値」概念の創出と、それに基づく倫理的評価尺度の開発, 基盤研究(C) 課題番号:23593158, 2011年度 - 2014年度

II 生物医学領域

関谷伸一

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

なし

3. 著書

なし

4. 学会発表

発表者名（発表年月日）：発表演題名，発表学会名，発表地.

①関谷伸一，田島木綿子，真柄真実，山田 格（平成 24 年 6 月 3 日）：カマイルカとシワハイルカの上腕頭筋の比較解剖. 第 23 回日本セトロロジー研究会（松島）

②関谷伸一，真柄真実，田島木綿子，山田 格（平成 25 年 3 月 28 日）：カマイルカ costo-coracoid 筋とその支配神経. 第 118 回日本解剖学会（高松）

5. その他の研究活動

国立科学博物館動物研究部オープンラボに参加

第 6 回マクロ解剖セミナー新潟に参加

【学会等における活動】

日本魚類学会

日本動物学会

日本解剖学会

日本海セトロロジー研究会

日本霊長類学会

人類形態科学研究会

コ・メディカル形態機能学研究会

American Association of Anatomists

【社会活動】

なし

【学内教育活動】

生物学、形態機能学Ⅱ、基礎ゼミナール、ふれあい実習

【学内委員会等の活動】

看護研究交流センター長

学生委員会委員

紀要委員会委員長
教務委員会副委員長
自己点検自己評価委員会
情報化推進本部
法人化 WG
COCWG

【外部資金獲得】

なし

境原 三津夫

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

(1) 菊地美帆、境原三津夫、河内和直、他（2012年2月）：自然現象が分娩開始に及ぼす影響，新潟県立看護大学紀要，2，23-27。（査読有）

3. 著書

なし

4. 学会発表

(1) 櫻井信人、後田穰、田口玲子、境原三津夫（2012年6月29日）：追いつめられた精神障害者家族の支援についての一考察—親がわが子を死に至らしめた事例より—，第1回日本精神保健福祉学会，札幌市

5. その他の研究活動

【学会等における活動】

日本産科婦人科学会・専門医

日本周産期・新生児医学会

日本補完代替医療学会・学識医

日本児童青年精神医学会

日本母性衛生学会

【社会活動】

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| (1) 平成18年4月～現在 | 金沢医科大学非常勤講師 |
| (2) 平成24年2月2日 | 新潟県精神保健福祉士協会中越地区研修会講師 |
| (3) 平成18年～ | 医療法人和光会光病院非常勤医師（地域医療支援活動） |
| (4) 平成19年～ | 県北医療センター高萩協同病院非常勤医師（地域医療支援活動） |

【学内教育活動】

(1) 学部

①臨床病態学Ⅰ・Ⅱ

②基礎ゼミナール

③ふれあい実習

④母性看護学Ⅱ

⑤助産学Ⅱ

(2) 大学院

①病態治療学

【学内委員会等の活動】

- (1) 倫理委員会（委員長）
- (2) ハラスメント防止委員会（委員長）
- (3) 共通科目系長
- (4) 看護研究交流センター先駆的学習支援部門員

【外部資金獲得】

- (1) 研究種目 科学研究費補助金 基盤研究 (C)
期間 (年度) 平成 23-25 年度
研究課題 触法精神障害者の社会復帰支援システムの構築
研究者 境原三津夫(研究代表者)、櫻井信人
研究経費 245 万円
- (2) 研究種目 科学研究費補助金 基盤研究 (C)
期間 (年度) 平成 22-24 年度
研究課題 助産事故を経験した助産契約当事者間の信頼関係形成過程に関する質的研究
研究者 高島葉子 (研究代表者) 、境原三津夫(研究分担者)、中島通子
研究経費 30 万円

Ⅲ 基礎看護学領域

坪倉 繁美

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

- ・厚生労働省（平成 24 年 6 月） ， e ラーニングを導入した看護師養成所の専任教員養成講習会の実施方法に関する検討会報告書（座長：坪倉繁美） ， 1-15.
- ・坪倉繁美（2012）：看護教員教育の機会拡大－e ラーニングを導入した看護教員養成に向けて－，Nursing BUSINESS, 6（11） ， 1006－1007.（査読無）
- ・長野県健康福祉部医療推進課（平成 25 年 3 月）平成 24 年度看護人材の確保・定着に係る検討会報告（座長：坪倉繁美） ， 1-24.

3. 著書

なし

4. 学会発表

なし

5. その他の研究活動

- ・平成 24 年 7 月～ 日本看護研究学会査読委員（現在に至る）
- ・平成 24 年 10 年 新潟県看護ケア研究学会第 4 回学術集会 口演発表座長

【学会等における活動】

- 平成 8 年 4 月 日本看護研究学会員（現在に至る）
- 平成 11 年 8 月 日本看護学教育学会員（現在に至る）
- 平成 12 年 4 月 日本看護科学学会員（現在に至る）
- 平成 15 年 10 月 日本公共政策学会員（現在に至る）
- 平成 17 年 12 月 日本公衆衛生学会員（現在に至る）
- 平成 23 年 10 月 新潟看護ケア研究学会（平成 23 年 10 月より監事、現在に至る）

【社会活動】

- ・平成 24 年 1 月～平成 25 年 6 月 厚生労働省 e ラーニングを導入した看護師等養成所の専任教員養成講習会の実施方法に関する検討会委員・座長（厚生労働省医政局）
- ・平成 24 年 6 月～ 長野県 看護人材の確保・定着に係る検討会委員・座長
- ・平成 24 年 5 月～25 年 3 月 新潟県 看護教員養成講習会準備委員会委員・委員長
- ・平成 25 年 3 月 長野県看護人材の確保・定着に係る検討会報告会 コーディネータ・助言者（テーマ：新人看護職員の定着の促進について）
- ・平成 24 年 5 月 兵庫県専任教員養成講習会講師（テーマ：看護教育論）
- ・平成 24 年 8 月 兵庫県立看護師等養成所専任教員研修会講師（テーマ：共に学ぶ看護倫理）
- ・平成 24 年 10 月 福島県看護協会ジェネラリスト育成の教育研修会講師（テーマ：看護倫理）
- ・平成 25 年 1 月～3 月 厚生労働省「看護教員養成支援事業」における e ラーニングコンテンツ確

認

【学内教育活動】

- ・学部
 - 看護管理
 - 看護行政論
 - 看護倫理
 - 総合実習
 - 専門ゼミナールⅠ
 - 専門ゼミナールⅡ
- ・大学院
 - 看護政策論
 - 看護教育学
 - 看護倫理特論
 - 看護管理学特論
 - 看護管理学援助論Ⅰ
 - 看護管理学援助論Ⅱ
 - 看護管理学特別演習
 - 看護学領域特別研究

【学内委員会等の活動】

- ・学部各種運営委員会
 - 倫理委員会：委員
 - 教務委員会：委員
- ・大学院小委員会
 - 教学小委員会：委員
 - 入学小委員会：委員長
- ・看護研究交流センター
 - 地域課題研究開発：委員

【外的資金獲得】

なし

水口陽子

【研究活動】

1. 原著論文

① 水口陽子, 山田真衣, 永吉雅人他(2012): 森林セラピー及びノルディックウォーキング参加者の心身反応に関する研究—シルバー世代の反応—, 医学と生物学, 156(4), 212-218. (査読有)

2. その他の論文

① 水口陽子(2012): 食生活に関するチェックシートを用いた食生活の特性についての意識と自己評価に関する検証—看護大学生を対象とした初期評価—, THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL, 62(2), 199-209. (査読有)

③ 水口陽子(2012): 基礎看護技術修得のためのビデオ映像によるチェック導入の試み—臥床患者のシーツ交換の学習における活用—, THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL, 62(3), 323-333. (査読有)

3. 著書

・特になし

4. 学会発表

① 永吉 雅人, 城戸 裕子, 水口 陽子, 山田 真衣(2012年8月25日): 「介護準備・学習」コースモニタツアーの実施報告—実施概要と参加者の感想—, 第15回日本福祉のまちづくり学会全国大会, 北九州市.

5. その他の研究活動

・特になし

【学会等における活動】

・ナイチンゲール研究学会会員
・日本看護科学学会会員

【社会活動】

・新潟県立看護大学看護研究交流センターの特別研究部門のメンバーとして健康改善・リフレッシュを目指したメディカルグリーンツーリズムの上越市及び妙高市におけるコース(妙高メディカルグリーンツアー)を実施(2012年9月28-30日)

【学内教育活動】

学部

・看護学概論
・看護技術論
・基礎看護技術演習Ⅰ・Ⅱ
・基礎看護学実習
・基礎看護学実習Ⅰ
・専門ゼミナールⅠ・Ⅱ
・総合実習

【学内委員会等の活動】

・入試・広報委員会(副委員長)

- ・教務委員会（委員）
- ・看護研究交流センター・特別研究部門（委員）
- ・ハラスメント相談員

【外部資金獲得】

- ・特になし

岡村 典子

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

・岡村典子，藤井徹也（2012）：看護学生，Ns 学生桜子の看護技術ホップ・ステップ・ジャンプ 陰部の清潔援助，35-41，メヂカルフレンド社，東京。（査読無）

3. 著書

なし

4. 学会発表

- ・小宮山陽子，尾矢博子，岡村典子，水澤千代子（2012年10月3日）：プリセプターの役割認識に関する研究②ーロールプレイングを取り入れた研修プログラムの効果ー，第43回日本看護学会看護管理，京都市。
- ・河 美知子，美濃由紀子，塩田久美子，中川佑架，乙黒仁美，三井督子，高橋直美，津田右子，岡村典子，米山奈奈子，宮本真巳（2012年12月1日）：事例検討会における事例提供者の“気づき”の促進要因と継続学習への内発的動機づけとの関連性(第1報)，第32回日本看護科学学会，東京。
- ・塩田久美子，美濃由紀子，河合美知子，中川佑架，乙黒仁美，三井督子，高橋直美，津田右子，岡村典子，米山奈奈子，宮本真巳（2012年12月1日）：事例提供者の“気づき”の促進要因と継続学習への内発的動機づけを高める要素との関連性(第2報)，第32回日本看護科学学会，東京。

5. その他の研究活動

【学会等における活動】

なし

【社会活動】

- ・新潟県病院局業務課主催，「副看護師長研修」講師，2012年5月
- ・静岡がんセンター看護部主催，「看護過程研修」講師，2012年5月，2013年1月
- ・新潟県立中央病院看護部主催，「マネジメントスキルアップ研修」講師，2012年8月，11月，2013年2月

【学内教育活動】

- ・学部：看護学概論，看護技術論，基礎看護学演習Ⅰ，基礎看護学演習Ⅱ，基礎看護学実習，基礎看護学実習Ⅰ，ふれあい実習，専門ゼミナールⅠ，専門ゼミナールⅡ，総合実習
- ・大学院：基礎看護学援助論Ⅰ，基礎看護学援助論Ⅱ，基礎看護学特別演習

【学内委員会等の活動】

- ・研究推進委員会（副委員長），看護交流センター地域課題研究開発部門（委員），入試・広報委員会（委員，10月～），研究科委員会（委員）

【外部資金獲得】

- ・岡村典子：中堅看護師の就業継続に向け管理者に必要とされる支援に関する研究，若手研究(B)，平成21年度～平成24年度，文部科学省科学研究費研究助成課題（課題番号21792183）

河野優子

【研究活動】

1. 原著論文
なし
2. その他の論文
なし
3. 著書
なし
4. 学会発表
なし
5. その他の研究活動
なし

【学会等における活動】

なし

【社会活動】

なし

【学内教育活動】

- ・看護技術論
- ・基礎看護技術演習 I
- ・基礎看護学実習 I

【学内委員会等の活動】

- ・実習委員会

【外部資金獲得】

なし

内藤 みほ

【研究活動】

4. 学会発表

- (1) 内藤みほ，水澤久恵，橋本明浩（2012. 10. 25）：西日本地域の介護保険施設で働く看護職の感染対策行動と予防認識の実態，第 71 回日本公衆衛生学会総会，山口。
- (2) 内藤みほ，水澤久恵，藤崎郁，橋本明浩（2012. 11. 30）：西日本における高齢者施設で働く看護職の感染に対する認識と予防行動の実態，第 32 回日本看護科学学会学術集会，東京。
- (3) 横関泰江，小山知子，内藤みほ，星揚子，石田和子（2013. 02. 16）：長期抗がん剤治療中の骨肉腫肺転移患者が持つ嘔気への看護支援—ISAM 理論を用いた予期的嘔気に対する症状マネジメント—，第 27 回日本がん看護学会学術集会，石川。

【学会等における活動】

日本看護科学学会（会員），日本がん看護学会（会員），日本公衆衛生学会（会員），日本死の臨床研究会（会員），仏教看護ビハラー学会（会員），日本臨床倫理学会（会員），新潟がん看護研究会（会員）

【学内委員会等の活動】

- ・看護研究交流センター 地域社会貢献部門
- ・災害時看護・支援ワーキング

IV 臨床看護学領域

加城貴美子

【研究活動】

1 原著論文

塚本博之、加城貴美子（2013年2月）：靴と下駄を履いた前後の集中力の相違に関する基礎的研究—「百ます計算」の平均値を比較して—、静岡産業大学情報学部研究紀要、第15号、321-338。
（査読有）

2 その他論文

なし

3 著書

なし

4 学会発表

加城貴美子：幼児～小学生の接地足跡画像の形態学的分析、第11回日本成長発達学会。静岡県磐田市、平成25年3月

5 その他の研究活動

足の測定・調査

平成24年5月 学校法人 賤機保育園（平成23年2月23日） 足の測定・調査 静岡県静岡市
学校法人 アイ・アイ学園 有度幼稚園（平成24年5月15日～16日） 足の測定・調査 静岡県静岡市
平成25年2月 学校法人 賤機保育園（平成25年2月19日） 足の測定・調査 静岡県静岡市
平成25年2月 学校法人 アイ・アイ学園 有度幼稚園（平成25年2月20日） 足の測定・調査 静岡県静岡市

足の測定・調査報告会

平成24年9月 学校法人 アイ・アイ学園 有度幼稚園（平成24年9月24日） 足の測定・調査結果報告会 静岡県静岡市
平成25年3月 学校法人 賤機保育園（平成25年3月19日） 足の測定・調査報告会 静岡県静岡市

地域貢献

平成24年8月21日 出前講座 新潟県立佐渡高等学校 講師 新潟県立看護大学模擬講座（母性看護学）

【社会活動】

- ・日本交流分析協会（准教授） 2級講座担当 1級講座担当 インストラクター養成講座担当
- ・日本筆跡診断士協会認定筆跡診断士 富山市，上越市，岡谷市で筆跡診断養成セミナー初級開催 筆跡診断士養成通信過程講師
- ・プロ若石健康法マスター講師（足の測定・調査結果からの講演で足揉み健康の普及活動を行っている）

資格

平成24年6月16日 「ほめ達！」検定3級合格 富山県南砺市
平成24年11月23日 「ほめ達！」検定2級合格 富山県南砺市
平成25年2月24日 「ほめ達！」検定1級合格 大阪市

報道

平成24年6月 新潟日報掲載（平成24年6月28日） 渡辺幸雄個展についての評論

【学内教育活動】

学部：母性看護学Ⅰ 母性看護学Ⅱ 母性看護学演習 母性看護学実習 専門ゼミ
ナールⅠ 専門ゼミナールⅡ

大学院：母性看護学特別演習 文献購読

【学内委員会活動】

学部：教務委員会 教授会

大学院：教学小委員会 研究科委員会

【外部資金獲得】

なし

石田 和子

【研究業績】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

- 1) 石田和子、平井和恵、三上寿美子（2012. 9）：日本がん看護学会ニュースレター、がん患者ケア、日総研出版、P92

3. 著書

なし

4. 学会発表

- 1) 横川史穂子、伊藤綾、佐藤充子、石岡幸恵、石田和子（2013. 2. ）：患者会に参加している
ストーマ増設患者の日常生活の困難と対処における語りの効果、日本がん看護学会、金沢。
2) 渡邊千春、石田和子（2013. 1）：終末期がん患者への輸液療法に関する文献考察、日本がん
看護学会、金沢。
3) 伊藤綾、横川史穂子、石岡幸恵、佐藤充子、石田和子（2013. 2）：終末期がん患者に村田
理論を活用したスピリチュアルペインへの看護介入、日本がん看護学会、金沢。
4) 横関泰江、小山知子、内藤みほ、星揚子、石田和子（2013. 2）：長期抗がん剤治療中の骨
肉腫肺転移患者が持つ応期への看護支援 IASM理論を用いた予期的嘔気に対する症状マネ
ジメント、日本がん看護学会、金沢。
5) 三浦一二三、石田和子（2013. 2）：分子標的薬治療を受けている大腸がん患者が体験して
いる皮膚障害に対するストレスと対処行動のプロセス、日本がん看護学会、金沢。
6) Kazuko I, Junko I, Hsae M, Yoshiko K, Kiyoko K（2012. 9）：The need recognition
and adovantages of a patient advocacy group called “THE TEA TAIME” that gynecolo
gical patients with cancer meet . 17Th International Conference on Cancer Nursing,
Prague.
7) Junko I, Kazuko I, Hisae M, Kiyoko K（2012. 9）：Bibliographic consideration re
garding family support for patients with cancer in japan , 17 Th International Co
nference on Cancer Nursing, Prague.
8) 片山春奈、石岡幸恵、石田和子（2012. 7）：血液・造血器疾患患者の病名告知から病気を
受容するまでの心理過程に関する研究、日本看護研究学会、沖縄。
9) 明地由紀子、石田和子（2012. 7）：心身の不調を体験した女性の更年期外来受診に至るプ
ロセス、日本看護研究学会、沖縄。

5. その他の研究活動

なし

【学会等における活動】

日本看護協会会員

日本看護研究学会会員

日本がん看護学会会員

日本がん看護学会SIG特別関心グループがん化学療法グループ委員長

日本がん看護学会 代議員 2012年～

第28回日本がん看護学会企画委員

日本看護科学学会会員

日本看護診断学会会員

日本造血幹細胞移植学会会員

北関東医学会会員

【社会活動】

日本専門看護師協議会会員

群馬専門看護師協議会会員

群馬がん看護研究会 理事

【学内教育活動】

- 1) 大学院教育
がん看護専門看護師コースを担当
がん看護修士論文を指導
看護研究法
- 2) 学部教育
成人看護学Ⅰ
成人看護学Ⅱ
成人看護学演習
成人看護学実習

【学内委員会活動】

- 1) 実習委員長（2011年～現在）
- 2) 教務委員（2010年～現在）
- 3) 教学小委員会（2010年～現在）
- 4) 倫理委員会委員長（2010年）

【外的資金獲得】

- 1) 神田清子（研究代表者）石田和子（研究分担者）他：化学療法に伴う末梢神経障害の尺度開発によるケアマネジメントの包括的評価、科研費 基盤研究B（2013年～ ）
- 2) 石田順子（研究代表者）石田和子（研究分担者）他：がん患者と家族の生き生き支援モデルの開発、科研費 基盤C（2012年～ ）

酒井禎子

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

- ・酒井禎子（2013）：Transition Support としての退院支援，聖路加看護学会誌 16(3)，57-58.

3. 著書

なし

4. 学会発表

- ・酒井禎子（2012年9月22日）：Transition Support としての退院支援，第17回聖路加看護学会学術大会，東京.
- ・石岡幸恵，竹原則子，酒井禎子（2012年11月4日）：救命救急・集中治療領域におけるターミナルケアの文献レビュー，第36回日本死の臨床研究会，京都.
- ・酒井禎子（2013年2月16日）：ホスピス・緩和ケア病棟がない地域における根治的治療が困難となったがん患者と家族への援助－医療者から見た問題と課題－，第27回日本がん看護学会学術集会，石川.
- ・星揚子，酒井禎子（2013年2月17日）：乳がんの外科的治療が患者とその夫の退院後の生活に与える変化 自己の役割機能と社会生活の変化に焦点を当てて，第27回日本がん看護学会学術集会，石川.

5. その他の研究活動

なし

【学会等における活動】

- ・日本死の臨床研究会関東甲信越支部 役員
- ・聖路加看護学会 評議員
- ・日本緩和医療学会 代議員・教育研修委員会 ELNEC-J WPG WG 員
- ・日本がん看護学会 評議員

【社会活動】

- ・医療の心を考える会パート3世話人
- ・第6回 ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラム講師（平成24年5月）
- ・新潟労災病院看護部教育研修講師「看護実践における看護研究」（平成24年5月）
- ・森林セラピー体験講座講師「ストレスと健康について」（平成24年6月）
- ・公益社団法人日本看護協会看護研修学校〈ナースのためのホスピス緩和ケア研修〉ホスピス緩和ケア総論Ⅱ－1「日本人の死」講師（平成24年6月）
- ・新潟労災病院看護部教育研修講師「研究計画書の作成の基礎知識」（平成24年6月）
- ・公益社団法人日本看護協会神戸研修センター〈ナースのためのホスピス緩和ケア研修〉「日本人の死（1）」講師（平成24年8月）
- ・新潟労災病院看護部教育研修講師「研究計画書の指導」（平成24年8月）
- ・平成24年度新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会「実習指導方法論Ⅱ」講師（平成24年8月～9月）

- ・ 平成 24 年度地域保健福祉関係職員研修（糸魚川）「地域での質の高い看取り体制について－エンド・オブ・ライフ・ケアの視点で－」講師（平成 24 年 10 月）
- ・ 金沢大学医科大学病院 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム講師（平成 24 年 11 月）

【学内教育活動】

<学部>

成人看護学Ⅰ・Ⅱ、成人看護学演習、成人看護学実習、看護研究法、専門ゼミナールⅠ、専門ゼミナールⅡ、総合実習

<大学院>

がん看護学方法論－特論Ⅰ、がん看護学特論Ⅱ、がん看護学特論Ⅲ、がん看護援助展開論Ⅰ、がん看護援助展開論Ⅱ、がん看護学特別演習Ⅰ－演習Ⅰ、がん看護学演習Ⅱ、がん看護学演習Ⅲ

【学内委員会等の活動】

- ・ 国家試験対策・就職委員会 副委員長
- ・ 学生委員会 委員
- ・ 実習委員会 委員
- ・ 看護研究交流センター特別研究部門 部員

【外部資金獲得】

なし

高柳 智子

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

なし

3. 著書

なし

4. 学会発表

高柳智子, 泉キヨ子 (2012.7) : 脳卒中患者のベッド・車椅子間における移乗時「見守り解除」指標の評価、日本看護研究学会、沖縄.

5. その他の研究活動

なし

【学会等における活動】

- ・日本看護研究学会 会員
- ・日本老年看護学会 会員
- ・日本リハビリテーション看護学会 会員
- ・日本人間工学会看護人間工学部会 会員

【社会活動】

上越看護研究発表会実行委員

【学内教育活動】

学部：成人看護学Ⅰ、成人看護学Ⅱ、成人看護学演習、成人看護学実習、専門ゼミナールⅠ、専門ゼミナールⅡ、総合実習

大学院：看護学研究法、成人看護学特論、成人看護学援助論Ⅰ、成人看護学援助論Ⅱ、成人看護学演習、看護学特別研究

【学内委員会等の活動】

学生委員会委員長、紀要委員会副委員長、教務委員会委員、編入学生コーディネーター、看護研究交流センター地域課題研究開発部門員、

【外部資金獲得】

科学研究費 基盤研究(C) 研究代表者

研究課題名「看護師の臨床判断を基盤とした脳卒中患者の移乗時見守り解除のアセスメント指標の開発」

山田正実

【研究活動】

1. 論文

なし

2. 著書

赤羽秀徳、阿部篤子、飯国紀一郎、他 14 名、山田正実 (2013. 1) : 新看護学 10 成人看護 [2] 第 12 版第 1 刷、医学書院、東京

3. 学会発表

山田正実、飯吉令枝、平澤則子、他 (2013. 3. 9) : COPD 患者の安定期を維持するためのセルフマネジメント 1 年後の縦断的調査から、第 17 回日本在宅ケア学会学術集会、水戸市

古澤弘美、山田正実、竹原則子、他 (2012. 12. 15) : 公立 A 病院外来における在宅酸素療法の実施状況について、第 25 回新潟在宅呼吸療法研究会、新潟市

土田由梨、山田正実、木原圭美、他 (2012. 12. 15) : 平成 24 年度呼吸教室の実施報告 家族の参加状況とアンケート結果から見えてきた課題、第 25 回新潟在宅呼吸療法研究会、新潟市

4. その他の研究活動

独立行政法人国立病院機構新潟病院 2 セクション研究指導

新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究「公立 A 病院における在宅酸素療法導入後の指導の検討ー継続看護システムの構築ー」 学内責任者

【学会等における活動】

日本看護学会会員、日本家族看護学会会員、家族関係学部会会員、看護質的統合法 (N-KJ 法) 研究会会員 (監事)、日本在宅ケア学会会員、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会会員、日本禁煙科学学会会員

【社会活動】

新潟県立看護大学青年赤十字奉仕団事務局

いきいきサロン (看護研究交流センター) 講師 : 「大切な人のための禁煙サポートー家族みんなで禁煙チャレンジ」

新潟県大学災害支援連携協議会委員

【学内教育活動】

学部 : 成人看護学 I、成人看護学 II、成人看護学演習、成人看護学実習、総合実習、専門ゼミナール I、専門ゼミナール II

【学内委員会等の活動】

学生委員会委員

入試・広報委員会委員

11 期生クラス担任 : 面談、学習指導、推薦書作成等

看護研究交流センター看護職学習支援部門員 : 公開講座「災害看護」企画とコーディネータ

災害時看護・支援ワーキング代表 : 災害時支援物品の管理、学生のための減災・防災研修会企画運営、災害時避難所開設初動対応夜間シミュレーション実施と避難所開設等に係る備えの大学への提言

【外部資金獲得】

なし

大久保明子

【研究活動】

1. 原著論文
なし
2. その他の論文
なし
3. 著書
なし
4. 学会発表
 - 1) 佐々木郁, 大久保明子, 郷更織 (他) (2012. 7. 21) : NICUに入院経験のある児の母親にとってのファミリーノートの意味, 日本小児看護学会 第22回学術集会, 岩手. (査読有)
 - 2) 大久保明子, 郷更織, 山田真衣 (他) (2012. 9. 9) : 子どもを亡くした遺族を支援するスタッフの初期の体験, 第19回学術集会 日本家族看護学会, 東京. (査読有)
 - 3) 大久保明子, 郷更織, 川里庸子 (2012. 11. 4) : 子どもを亡くした母親の悲しみの語りの変化, 日本死の臨床研究会 第35回年次大会, 京都. (査読有)
5. その他の研究活動
なし

【学会等における活動】

- ・日本看護科学学会, 日本小児看護学会, 日本小児保健学会, 日本小児がん看護学会, 日本がん看護学会, 日本看護教育学会, 日本死の臨床研究会, 日本家族看護学会, 新潟小児看護研究会

【社会活動】

- ・新潟小児看護研究会 役員 事務局
- ・上越教育大学大学院 非常勤講師, いのち教育論, 5~6月.
- ・第8回新潟小児看護研究集会 シンポジウム 座長 6月.
- ・上越市立頸城中学校, 看護の出前授業講師, 看護体験といのちの大切さ, 10月.
- ・子どもを亡くした遺族の会「わかばの会」役員.

【学内教育活動】

- ・学部: 小児看護学演習, 小児看護学Ⅱ, 小児看護学実習, 専門ゼミナールⅠ・Ⅱ, 総合実習.

【学内委員会等の活動】

- ・教務委員会 (委員)
- ・ハラスメント防止委員会 (委員)
- ・看護研究交流センター 地域貢献部門 (委員)

【外部資金獲得】

なし

【研究活動】

1 原著論文

- ・菊地美帆, 高島葉子, 高塚麻由 (2012) : 新生児の母性看護学演習項目を全身清拭に変更したことによる演習の学びと実習への効果, 医学と生物学, 156(7), 459-465. (査読有)
- ・高島葉子, 中島通子 (2013) : 助産事故により死産し紛争に至った女性の体験, 新潟県立看護大学紀要, 2巻, 1-9. (査読有)

2 その他の論文

- ・小泉美佐子, 平澤則子, 高林知佳子, 片平伸子, 高島葉子, 後田譲 (2013) : 看護職員県外就業状況等実態調査 報告書, 1-80.

3 著書

なし

4 学会発表

- ・高島葉子, 中島通子 (平成 24 年 11 月 17 日) : 助産事故により死産し紛争に至った女性の助産師に対する信頼関係の変化, 第 53 回日本母性衛生学会, 福岡市 (アクロス福岡).

5 その他の研究活動

なし

【学会等における活動】

- ・日本助産学会会員
- ・日本母性衛生学会会員
- ・日本思春期学会会員
- ・日本災害看護学会会員

【社会活動】

- ・公益社団法人新潟県助産師会監事 平成 22 年 4 月～現在に至る
- ・上越市少子社会を考える市民懇話会副委員長 平成 23 年 6 月～現在に至る
- ・新潟県三条東高等学校進路ガイダンス講師 (平成 24 年 10 月) : テーマ「新生児の看護一胎児から新生児になることを支援すること」
- ・公益社団法人新潟県看護協会県央支部助産師職能研修会講師 (平成 24 年 10 月) : テーマ「今どきの育児」
- ・上越市民生委員・児童委員協議会第 3 地区代表者研修会講師 (平成 25 年 2 月) : テーマ「最近の出産・育児事情」
- ・四日市看護医療大学 助産学概論講師 (平成 25 年 3 月) : 「災害時における母子の看護」、「助産業務管理」
- ・新潟母乳育児をすすめる会幹事
- ・日本看護協会会員

【学内教育活動】学内教育活動

- ・助産学Ⅰ・助産学Ⅱ・助産学実習 (科目担当者)
- ・専門ゼミⅠ・Ⅱ、総合実習

【学内委員会等の活動】

- ・教務委員会委員 (主として、シラバス、看護研究発表会を担当)
- ・国家試験対策・就職委員会委員 (主としてキャリア教育、国家試験対策・講義を担当)
- ・災害時看護・支援ワーキング委員

【外部資金獲得】

科学研究費補助金 (基盤研究C)

- ・高島葉子 (研究代表者) : 助産事故を経験した助産契約当事者間の信頼関係形成過程に関する質

的研究，課題番号 22592497，（平成 22 年度－平成 24 年度）

・科学研究費補助金（基盤研究C）

高島葉子（研究代表者）：助産事故後の当事者間の信頼関係をつなぐ「分岐」を意識した初期対応モデルの構築，課題番号 25463492，（平成 25 年度－平成 27 年度）

飯田智恵

【研究活動】

1. 原著論文

- 須藤陽子、内宮律代、飯田智恵、他（2012）：看護師の学び直しプログラム“バーチャル・カレッジ”のシステム開発と課題、バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌、14(2)、69-75（査読あり）

2. その他の論文

- 内宮律代、須藤陽子、飯田智恵（2012）：看護師の学び直し支援プログラム「どこでもカレッジ」の現状と課題、教育システム情報学会研究報告、27(1)、81-84（査読あり）

3. 著書

なし

4. 学会発表

- 内宮律代、須藤陽子、飯田智恵（2012年5月18日）：看護師の学び直し支援プログラム「どこでもカレッジ」の現状と課題、教育システム情報学会 2012年度第1回研究会、千葉
- Chie IIDA, Yoko SUDO, Akihiro HASHIMOTO(2013年2月22日):Evaluation of a re-learning program on physical assessment of the respiratory system for nurses, 16th East Asian Forum of Nursing Scholars, Bngkok
- Yoko SUDO, Ritsuyo UCHIMIYA, Chie IIDA, et.al. (2013年2月22日): The system reconstruction of the “virtual college” recurrent educational program for nurses, 16th East Asian Forum of Nursing Scholars, Bngkok

5. その他の研究活動

【学会等における活動】

所属学会：日本看護研究学会、日本在宅ケア学会、日本がん看護学会、北関東医学会、新潟看護ケア研究学会

【社会活動】

- 看護研究指導（2012年7月～2013年1月）：独立行政法人国立病院機構新潟病院
- 呼吸器のフィジカルアセスメント（2012年10月27日）：平成24年度新潟県立看護研究交流センター 公開講座 講師（120分）
- 急変に備えるフィジカルアセスメント（2012年10月10日、10月31日）：平成24年度高齢者福祉施設看護職員研修会 講師（各120分）、上越地域振興局健康福祉環境部地域保健課 主催

【学内教育活動】

<学部>

- 成人看護学Ⅰ
- 成人看護学Ⅱ
- 成人看護学演習
- 成人看護学実習
- 専門ゼミナールⅠ
- 専門ゼミナールⅡ
- 総合実習

【学内委員会等の活動】

- 入試・広報委員会（委員）
- 看護研究交流センター看護職学習支援部門（部門員）
- 保健指導員
- 衛生委員会（委員）

【外部資金獲得】

なし

小林綾子

【研究活動】

1~4 なし

5. その他の研究活動

沼紀子, 近藤悦子, 本間弘美, 水澤久恵, 小林綾子 (2012, 9, 29) : 看護師の考える看護サービスの特徴, 新潟県立看護研究交流センター H23 年度地域課題研究発表会, 新潟.

【学会等における活動】

日本糖尿病教育看護学会会員, 日本慢性看護学会員, 日本看護研究学会員, 日本看護科学学会員, 新潟慢性疾患看護研究会会員

【社会活動】

新潟県立中央病院内科外来 糖尿病患者の看護相談の実施 (毎月 1~2 回 4~8 時間)

【学内教育活動】

学部: 成人看護学 I, 成人看護学実習

【学内委員会等の活動】

実習委員会, 看護研究交流センター特別研究部門

【外部資金獲得】

科学研究費助成事業 (若手研究 B) 補助事業期間 平成 24 年度~平成 26 年度)

小林綾子 (研究代表者) : 降雪地域の特性を生かした 2 型糖尿病患者の運動療法継続に向けた支援方法の検討.

菊地美帆

【研究活動】

1. 原著論文

- ・ 菊地美帆、高島葉子、高塚麻由（平成 24 年 7 月）：新生児の母性看護学演習項目を全身清拭に変更したことによる演習の学びと実習への効果，医学と生物学，156（7），459-466.（査読有）

2. その他の論文

- ・ 菊地美帆、境原三津夫、河内和直、他（平成 25 年 2 月）：自然現象が分娩開始に及ぼす影響，新潟県立看護大学紀要，2，23-27.（査読有）

3. 著書

4. 学会発表

- ・ 菊地美帆、歌川孝子（平成 24 年 11 月 17 日）：在日外国人女性の乳がん検診啓発に向けた取り組み，第 53 回日本母性衛生学会，アクロス福岡

5. その他の研究活動

【学会等における活動】

- ・ 日本助産学会会員
- ・ 日本母性衛生学会会員
- ・ 日本国際保健医療学会会員

【社会活動】

1. 日本看護協会会員

2. 上越国際交流協会会員

3. 「「ストップ！乳がん、子宮がん」早期発見の講習会」講師 上越国際交流協会（平成 25 年 3 月 10 日）

4. 平成 24 年度気仙沼市医師会附属看護学校 講師研修会
特別講演 「広がる看護の活動領域～国際看護～」講師（平成 24 年 11 月 26 日）

【学内教育活動】

・ 学部

助産学Ⅰ、助産学実習、専門ゼミナールⅠ・Ⅱ、総合実習、国際看護活動論

【学内委員会等の活動】

実習委員会委員

看護研究交流センター 先駆的学習支援部門部門員

【外的資金獲得】

郷 更織

【研究活動】

1. 原著論文

2. その他の論文

3. 著書

4. 学会発表

- ・佐々木郁・大久保明子・郷更織・山田真衣（2012. 7. 21）：NICUに入院経験のある児の母親にとってのファミリーノートの意味，日本小児看護学会第22回学術集会，盛岡.
- ・坪川麻樹子・山田真衣・郷更織（2012. 7. 21）：病児保育に関する研究の現状と看護における今後の課題，日本小児看護学会第22回学術集会，盛岡.
- ・大久保明子・郷更織・山田真衣・川里庸子・栗生田友子（2012. 9. 8）：子どもを亡くした遺族を支援するスタッフの初期の体験，日本看護家族学会第19回学術集会，東京.
- ・大久保明子・郷更織・川里庸子（2012. 11. 4）：子どもを亡くした家族の語りの変化，第36回日本死の臨床研究会，京都.

5. その他の研究活動

【学会等における活動】

1. 参加学会

日本看護科学学会会員、日本小児看護学会会員、日本小児保健学会会員、日本看護教育学会会員、日本家族看護学会会員、日本死の臨床研究会会員、新潟小児看護研究会会員（役員）

【社会活動】

- ・新潟小児看護研究会役員
- ・わかばの会（子どもを亡くした遺族のためのサポートグループ）世話役
（<http://members.niigata-cn.ac.jp/wakaba>）
- ・看護研究指導（独立行政法人国立病院機構新潟病院）

【学内教育活動】

1. 学部

小児看護学Ⅱ、小児看護学演習、小児看護学実習、小児看護学実習Ⅰ、小児看護学実習Ⅱ、総合実習、専門ゼミナールⅠ、専門ゼミナールⅡ

【学内委員会等の活動】

図書委員会（委員）、入試広報委員会（委員）、3年生担任

【外部資金獲得】

- ・科学研究費助成事業 2012～2014年度挑戦的萌芽研究 研究協力者
主研究者：栗生田友子（国立障害者リハビリテーションセンター）
研究テーマ：障害と共に生きる人への包括的生活支援を目指す「障害者看護学」構築のための基礎研究

山田 真衣

【研究活動】

原著論文

- ・山田真衣、渡邊タミ子、赤坂紀幸、遠山潤、小西徹（2011）：てんかん児に対する母親の服薬援助に関する実態，新潟大学医学部保健学科紀要，第10巻（1），p9 - 15. **（査読有）**
- ・水口陽子，山田真衣，永吉雅人，小林綾子，粟生田友子，酒井禎子，杉田収（2012）：森林セラピー及びノルディックウォーキング参加者の心身反応に関する研究 - シルバー世代の反応 - ，医学と生物学 第156巻 第4号，212-218 **（査読有）**

その他の論文

学会発表

- ・山田真衣，渡邊タミ子（2010.6.26）：てんかん児の母親の服薬援助に実態および服薬コンプライアンスとその関連要因について，日本小児看護学会 第20回学術集会，神戸.
- ・山田真衣，郷更織（2011.6.26）：在宅で生活している障害児(者)の家族への看護に関する研究動向，日本家族看護学会 第18回学術集会，京都.
- ・坪川麻樹子，山田真衣，郷更織（2012.7.21）：病児保育に関する研究の現状と看護における今後の課題，日本小児看護学会 第22回学術集会，盛岡.

【学会等における活動】

- ・第39回日本看護学会（小児看護）2008年9月 学会スタッフ

【社会活動】

- ・新潟小児看護研究会 役員
- ・子どもを亡くした遺族の会（わかばの会） スタッフ

渡邊千春

【研究活動】

1. 原著論文

2. その他の論文

3. 著書

4. 学会発表

渡邊千春, 石田和子 (平成 25 年 2 月 17 日) : 終末期がん患者・家族への輸液療法に対する文献的考察, 第 27 回日本がん看護学会学術集会, 石川県金沢市. (査読有)

5. その他の研究活動

平成 24 年度新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究報告書

「繰り返し入院しながら化学療法を継続している進行大腸がん患者が受けるサポートと対処行動」

: 石井瑞恵, 海發愛希, 渡邊千春

【学会等における活動】

【社会活動】

第 1 回 ELNEC-J コアカリキュラム in 上越 (臨死期のケア) 講師

【学内教育活動】

学部: 成人看護学Ⅱ, 成人看護学演習, 成人看護学実習, 専門ゼミナール

大学院: 専門分野別課題実習 (がん CNS)

【学内委員会等の活動】

入試・広報委員会

看護研究交流センター地域社会貢献部門「いきいきサロン」担当

【外部資金獲得】

・科学研究費: 若手研究 B (課題番号: 24792452)

「終末期がん患者・家族への輸液療法に対する意思決定支援ガイドの開発に関する研究」

・新潟県立看護大学 看護研究交流センター 平成 24 年度地域課題研究

「繰り返し入院しながら化学療法を継続している進行大腸がん患者が受けるサポートと対処行動」: 石井瑞恵, 海發愛希, 渡邊千春

竹原 則子

【研究活動】

(1) 学会発表；

- 石岡幸恵、竹原則子、酒井禎子（平成 24 年 11 月 4 日）：「救命救急・集中治療領域における文献レビュー」，第 36 回日本死の臨床研究会年次大会，京都.
- 古澤弘美、山田正実、竹原則子、清水みどり、土田由梨、木原圭美、後藤佳子、藤巻ゆかり（平成 24 年 12 月 15 日）：「公立 A 病院外来における在宅酸素療法の実施状況について —導入疾患と導入後指導状況—」，第 25 回新潟在宅呼吸療法研究会，新潟.
- 土田由梨、山田正実、木原佳美、高橋和宣、清水みどり、大黒屋佐和子、佐藤 圭、外山友里恵、中村明子、南波あずさ、藤沢明彦、竹原則子、今井弘子、小林 理（平成 24 年 12 月 15 日）：「平成 24 年度呼吸教室実施報告—家族の参加状況とアンケートから見えてきた課題—」，第 25 回新潟在宅呼吸療法研究会，新潟.

【学会等における活動】

なし

【社会活動】

(1) 新潟県立中央病院透析室 看護研究指導

【学内教育活動】

(1) 学部：

- 成人看護学Ⅱ講義「救急医療における看護」（2 年生）
- 成人看護学演習（3 年生）
- 成人看護学実習（3 年生）
- 総合実習（4 年生）
- 専門ゼミナールⅠ・Ⅱ（4 年生）

【学内委員会等の活動】

- (1) 実習委員会：委員（主に継燈式、総合実習・領域別実習に関与）
- (2) 看護交流センター地域貢献部門：委員（主にいきいきサロン企画運営に関与）

【外部資金獲得】

なし

以上

中澤 紀代子

【研究活動】

1. 原著論文
 該当なし
2. その他の論文
 該当なし
3. 著書
 該当なし
4. 学会発表

中澤紀代子, 定方美恵子, 佐山光子 (2012. 11. 16) : 死産で子どもを亡くした母親と家族をケアする助産師の体験－母親の胎内で生きていた子どもとして迎えるケア. 第 53 回日本母性衛生学会 (福岡) 口演発表

中澤紀代子, 定方美恵子, 佐山光子 (2012. 11. 23) : 死産で子どもを亡くした母親と家族をケアする助産師の体験－母親の胎内で生きていた子どもとして迎えるケア. 第 39 回新潟母性衛生学会 (新潟市) 口演発表

坂本 信, 定方美恵子, 西方真弓, 中澤紀代子, 他, (2012. 10. 23) : 看護師の臨床経験が視線運動に及ぼす影響. 日本非破壊検査協会 平成 24 年度秋季講演大会 (東京) 口演発表

西原亜矢子, 定方美恵子, 西方真弓, 中澤紀代子, 他, (2013. 3. 10) : 臨床実践能力セルフ・モニタリングプログラムにおける新人看護師のリフレクションの教育的支援. 日本教師学学会第 14 回大会 (秋田) 口演発表

5. その他の研究活動

【学会等における活動】

【社会活動】

【学内教育活動】

学部：母性看護学Ⅱ，母性看護学演習，母性看護学実習，専門ゼミナールⅠ，専門ゼミナールⅡ，総合実習

【学内委員会等の活動】

実習委員会 委員

国家試験対策・就職委員会 委員

【外部資金獲得】

北村 千章

【研究活動】

1. 原著論文

2. その他の論文

3. 著書

4. 学会発表

第19回 学術集会 日本家族看護学会

- ① 北村 千章, 西條 竜也, 栗生田 友子(2012): 重症先天性心疾患の子どもがひとり立ちするまでに育てた母親のライフストーリー, 日本家族看護学会抄録集, 142.
- ② 西條 竜也, 北村 千章, 栗生田 友子(2012): 重症先天性心疾患の子どもを亡くした父親にとっての子どもと過ごした体験, 日本家族看護学会抄録集, 143.

5. その他の研究活動

【学会等における活動】

【社会活動】

東京都心臓病の子どもを守る会 ボランティア支援

【学内教育活動】

3 学年 学年担当

【学内委員会等の活動】

学生委員会

【外部資金獲得】

石岡 幸恵

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

なし

3. 著書

なし

4. 学会発表

石岡 幸恵, 竹原 則子, 酒井 禎子(2012.9) : 救命救急・集中治療領域におけるターミナルケアの文献レビュー、死の臨床、京都.

伊藤 綾, 横川 史穂子, 石岡 幸恵, 佐藤 充子, 石田 和子(2013.2) : 終末期がん患者に村田理論を活用したスピリチュアルペインへの看護介入, 日本がん看護学会, 金沢.

横川 史穂子, 伊藤 綾, 佐藤 充子, 石岡 幸恵, 石田 和子 (2013.2) : 患者会に参加しているストーリーマシ造設患者の日常生活の困難と対処における語りの効果, 日本がん看護学会, 金沢.

5. その他の研究活動

【学会等における活動】

日本看護研究学会会員、日本がん看護学会会員、日本緩和医療学会会員、日本市の臨床研究会会員、日本乳がん看護研究会会員

【社会活動】

なし

【学内教育活動】

成人看護学演習、成人看護学実習他

【学内委員会等の活動】

保健指導員、災害時看護支援ワーキング

【外部資金獲得】

なし

高塚 麻由

【研究活動】

1. 原著論文

- ・ 菊地美帆, 高島葉子, 高塚麻由(2012): 新生児の母性看護学演習項目を全身清拭に変更したことによる演習の学びと実習への効果, 医学と生物学, 156(7), 459-466. (査読有)

2. その他の論文

3. 著書

4. 学会発表

- ・ 高塚麻由, 中島通子(2012. 11. 17): 母乳育児に取り組む母親が体験する困難に関する文献検討, 第53回日本母性衛生学会, 福岡.
- ・ Takatuska Mayu, Nakashima Michiko(2013.02.21): What difficulties do breastfeeding mothers experience? : A qualitative descriptive study, The 16th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS), Bangkok, Thailand.
- ・

5. その他の研究活動

【学会等における活動】

日本看護協会会員, 日本母性衛生学会会員, 日本助産学会会員

【社会活動】

【学内教育活動】

【学内委員会等の活動】

【外部資金獲得】

(鬼形 充智)

【業績】

なし

V 地域生活看護学領域

平澤 則子

【研究活動】

1. 原著論文

2. その他の論文

平澤則子, 飯吉令枝 (2013) : 大学での保健師教育における地域診断の教育方法の課題 — 保健師就業中の卒業生のインタビュー調査から —, 新潟県立看護大学紀要, 2, 16-22. (査読有),
井上智代, 片平伸子, 平澤則子, 藤川あや, 飯吉令枝, 高林, 知佳子 (2013) : 日本におけるソーシャル・キャピタルと健康に関する文献研究, 新潟県立看護大学紀要, 2, 10-15. (査読有)

3. 著書

平澤則子 (2012) : 閉じこもりがちな難病家族介護者への社会的支援, 野嶋佐由美, 渡辺裕子編, 家族看護選書第4巻 在宅での家族への看護, 70-76, 日本看護協会出版会, 東京.

4. 学会発表

藤川あや, 平澤則子 (2012/6/24) : 介護支援専門員の訪問看護利用に関する実態と課題
第15回日本地域看護学会, 東京.

平澤則子, 飯吉令枝, 藤川あや, 小林恵子, 小林奈緒子 (2012/9/15) : 豪雪過疎地域において地域リーダーの高齢者見守り活動が介護予防に果たす役割, 第7回日本ルーラルナーシング学会, 長野.
藤川あや, 平澤則子, 飯吉令枝, 小林恵子, 小林奈緒子 (2012/9/15) : 豪雪過疎地域における介護予防のための高齢者同士の見守り活動の強みと弱み, 長野.

片平伸子, 井上智代, 高林知佳子, 平澤則子, 飯吉令枝, 藤川あや (2012/10/24) : 日本におけるソーシャルキャピタルと健康に関する文献調査(1) —対象・主題について—, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口.

井上智代, 片平伸子, 高林知佳子, 平澤則子, 藤川あや, 飯吉令枝 (2012/10/24) : 日本におけるソーシャルキャピタルと健康に関する文献調査(2) —測定指標について—, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口.

平澤則子, 飯吉令枝 (2012/10/26) : 大学での保健師教育における地域診断の教育方法の課題 入職3年以内の保健師の認識, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口.

飯吉令枝, 平澤則子, 藤川あや, 小林恵子 (2012/10/26) : 豪雪過疎地域で高齢者を見守る専門職と住民の介護予防のための見守り項目, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口.

藤川あや, 平澤則子, 片平伸子, 井上智代 (2013/3/10) : 訪問看護ステーションが行う災害対策に関する全県調査, 第17回日本在宅ケア学会, 茨城.

山田正実, 飯吉令枝, 平澤則子, 他4名 (2013/3/10) : COPD患者の安定期を維持するためのセルフマネジメント—1年後の縦断的調査からの考察—, 第17回日本在宅ケア学会, 茨城.

5. その他の研究活動

- 平成24年度新潟県福祉保健部との共同研究「新潟県における看護基礎教育機関卒業生の県外就業状況等の実態調査」.
- 平成24年度新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究「重症心身障害児者に対するQOLの向上を目指したスコポラミン軟膏使用による流涎コントロール」, (研究代表者: 倉部治子) 共同研究.

【学会等における活動】

- 日本地域看護学会 日本在宅ケア学会 日本公衆衛生学会 日本難病看護学会
日本看護科学学会 日本保健福祉学会 空席問題研究会 日本ルーラルナーシング学会
・第7回日本ルーラルナーシング学会学術大会実行委員 第4群座長（平成24年9月15日）

【社会活動】

- ・NPO法人新潟難病支援ネットワーク（理事、平成24年4月から現在に至る）
- ・上越市介護保険運営協議会（副会長、平成21年9月から現在までに至る）
- ・上越市施設整備等検討委員会（座長、平成22年7月から現在に至る）
- ・上越市福祉課指定管理者選定委員会（委員長、平成22年10月から現在に至る）
- ・上越市高齢者支援課指定管理者選定委員会（委員長、平成22年10月から現在に至る）
- ・平成23年度国立病院機構新潟病院看護研究指導（平成24年6月から平成25年2月まで）
- ・新潟県看護協会看護の日シンポジウム座長（平成24年5月12日）：「地域で生きる絆をつむぐ医療の輪～住み慣れた地域で自分らしく生きたい～」
- ・新潟県訪問看護ステーション協議会研修会講師（平成24年5月26日）：「調査結果を踏まえて取り組むべきこと」
- ・糸魚川市能生地域活性化協議会総会 活動報告講評（平成24年5月30日）
- ・国立病院機構新潟病院看護部看護研究会講師（平成24年6月13日）：「看護研究の進め方」
- ・国立病院機構新潟病院看護部看護研究会講師（平成24年7月11日）：「ケーススタディの進め方」
- ・新潟県大学ガイダンスセミナー パネルディスカッションパネラー（平成24年8月8日）
- ・新潟県看護協会ファーストレベル講習会講師（平成24年9月1日）：「ヘルスケアシステム論」
- ・富山県看護協会保健師職能研修会講師（平成24年9月29日）：「コミュニティ・ミーティングを活用した地域づくり」
- ・新潟県魚沼地域保健師リーダー研修会講師（平成24年10月12日）：「保健師の専門性能力向上意識を高めるためのリーダー保健師の役割」
- ・新潟県立六日町高等学校出張講義（平成24年11月9日）：「保健師の仕事～人々の生活と健康を守る公衆衛生看護～」
- ・千葉県松戸市保健師研修講師（平成24年11月14日）：「コンサルテーションの理論と実際」
- ・新潟県看護学生地域・在宅看護実習指導者研修会講師（平成24年11月19日）：「看護教育課程」
- ・新潟県看護研究交流センター メディカルグリーンツーリズム介護準備コース講師（平成24年11月21日）：「どこでもできるリハビリ体操」
- ・糸魚川地域振興局健康福祉部地域保健従事者研修会（平成24年12月26日）：「ソーシャル・キャピタルの視点を生かした地域保健活動について」
- ・国立病院機構新潟病院看護部看護研究発表会講評（平成25年2月15日）
- ・慶応大学看護医療学部地域看護学分野ワークショップ講師（平成25年3月3日、神奈川県小田原市新玉小学校）：「コミュニティ・ミーティングを活用した地域づくり」
- ・第1回医療法人崇徳会 里学会座長・評価者（平成25年3月17日）

【学内教育活動】

1. 学部

公衆衛生看護学Ⅰ 地域看護学Ⅱ 在宅看護論演習 地域看護学演習 地域看護学実習
在宅看護論実習 専門ゼミナールⅠ・Ⅱ 総合実習

2. 大学院

看護学研究法 地域看護学方法論 地域看護学援助展開論 学校保健・養護教育展開論 地域看護学特別演習Ⅰ・Ⅱ 看護学領域特別研究 専門分野別課題演習 専門分野別課題研究(CNS 該当) 老年看護学特論Ⅲ

【学内委員会等の活動】

教務委員会：委員長 倫理委員会：委員 教学小委員会：副委員長
ハラスメント防止委員会：副委員長 看護研究交流センター：特別研究部門委員

【外部資金獲得】

平澤則子：在宅難病患者と家族のソーシャル・キャピタルと生活満足度に関する実証的研究，基盤研究（C），平成24年度～平成28年度，科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金補助金研究費），（課題番号24593448）。

飯吉令枝（研究代表者），平澤則子（研究分担者），小林恵子，藤川あや：豪雪過疎地域における介護予防リスクの高い高齢者を早期発見する近隣見守りチェックリストの開発，基盤研究（C），平成23年度～平成25年度，科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金補助金研究費），（課題番号23593387）。

片平伸子（研究代表者），平澤則子（研究分担者），藤川あや，井上智代：訪問看護ステーションにおける災害時相互支援ネットワーク構築を目指した実践研究，平成24年度公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団研究助成，40万円。

小泉 美佐子

【研究活動】

1. 原著論文

上山真美, 内田陽子, 小泉美佐子 (2011): 脳血管疾患患者の退院計画実施後の評価と転院となる要因ー自宅退院群と転院群との比較ー、群馬保健学紀要、32: 51-59 (査読あり)

2. その他論文

新潟県福祉保健部福祉保健課・新潟県立看護大学 (小泉美佐子, 平澤則子, 高林知佳子, 片平伸子, 高島葉子, 後田譲) (2013年1月): 看護職員県外就業状況等実態調査報告書

3. 著書

4. 学会発表

- ①小玉幸佳, 瀧澤清美, 石坂真由美, 木樽博美, 内田陽子, 上山真美, 小泉美佐子, 津久井利恵, 田中志子 (2012年5月20日): 特別養護老人ホームにおける遠隔通信機器活用方法の検証, 日本認知症ケア学会, 浜松市. (査読あり)
- ②辻村弘美, 小泉美佐子, 増田明美, 東山しのぶ, 菰山智子, 加藤綾子, 大河原真理, 井草謙, 廣瀬学, 伊藤慎一 (2012年5月20日): 認知症高齢者のおだやかスケールの開発ーおだやかさの全体的印象評価とスケール特典との関連ー, 日本認知症ケア学会, 浜松市. (査読あり)
- ③佐藤和佳子, 形上五月, 上山真美, 阿部桃子, 堀江竜弥, 陶山啓子, 泉キヨ子, 小泉美佐子 (2012年6月1日), 根拠に基づく高齢者排尿誘導法ガイドラインの開発 (1)ー開発方法の妥当性に関する検討ー, 日本老年泌尿器科学会, 徳島市.
- ④阿部桃子, 陶山啓子, 形上五月, 上山真美, 堀江竜弥, 小泉美佐子, 泉キヨ子, 佐藤和佳子 (2012年6月1日), 根拠に基づく高齢者排尿誘導法ガイドラインの開発 (2), ー国外文献のパイロット検索に関する報告ー, 日本老年泌尿器科学会, 徳島市.
- ⑤辻村弘美, 小泉美佐子, 増田明美, 東山しのぶ, 加藤綾子, 井草謙, 廣瀬学, 伊藤慎一 (2012年7月14日), 認知症高齢者のおだやかスケールの開発ー高齢者ケア施設別にみた評価者間一致度の検討ー, 日本老年看護学会, 金沢市. (査読有)
- ⑥小玉幸佳, 瀧澤清美, 石坂真由美, 木樽博美, 津久井利恵, 内田陽子, 上山真美, 小泉美佐子, 田中志子 (2012年7月15日), 特別養護老人ホームの看取りケアパスの開発, 日本老年看護学会, 金沢市. (査読有)
- ⑦佐藤和佳子, 阿部桃子, 泉キヨ子, 形上五月, 上山真美, 小泉美佐子, 陶山啓子, 堀江竜弥 (2012年7月15日), (交流集会): 高齢者排尿誘導ガイドラインの開発課程についてー高齢者支援に有効なガイドラインの在り方を考えるー

【学会等における活動】

公益社団法人日本看護科学会 (評議員), 日本看護研究学会 (評議員), 日本認知症ケア学会 (評議員), 日本老年行動科学会 (評議員), 日本老年泌尿器科学会 (評議員), 日本創傷・オストミー・失禁学会 (評議員), 日本老年社会学会 (査読員), 日本老年看護学会 (評議員); 日本老年看護学会第17回学術集会実行委員, 日本保健医療福祉連携教育学会 (理事)

The 6th international conference for Interprofessional Education and Collaborative Practice
“ALL TOGETHER BETTER HEALTH VI” Oct, 5-8. 2012 Kobe, JAPAN (Advisory Board)

【社会活動】

- ① 新潟県高齢保健福祉及び介護保険サービス基準等のあり方検討委員会（座長）
- ② 新潟県高等教育コンソーシアムにいがた看護系大学タスクフォース部会（委員）
- ③ 新潟県立看護大学看護研究交流センター・—52— 支援部門・講師「高度実践看護師の養成教育と活動の展望」
- ④ 新潟県立看護大学看護研究交流センター・特別研究部門「認知症の理解・支援を学ぶ」直江津学びの交流館出前講座の企画・講師
- ⑤ 新潟県立看護大学看護研究交流センター・地域社会貢献部門「排尿トラブル対処法」
- ⑥ 魚沼市・在宅医療連携拠点事業学習会・講師「家族による高齢者の終末期医療に対する代理意思決定—胃ろうの問題を中心に—」
- ⑦ 一般社団法人日本看護系大学協議会（社員）

【学内教育活動】

学部教育

老年看護学Ⅰ，老年看護学Ⅱ，老年看護学演習，老年看護学実習，総合実習，専門ゼミナールⅠ，専門ゼミナールⅡ，総合科目

大学院教育

看護理論，老年看護学特論Ⅰ，老年看護学特論Ⅱ，老年看護学特論Ⅲ，老年看護学特論Ⅳ，老年看護学特別演習Ⅰ，老年看護学特別演習Ⅱ

【学内委員会等の活動】

教学小委員会（24年5月～委員長）

看護研究交流センター・先駆的学習支援部門（部門長）

【外的資金獲得】

平成21年度～継続，科学研究費補助金基盤研究（C）「膀胱留置カテーテルに抜去後排尿障害の Assessment・ケアガイド」の作成（研究代表者：上山真美，共同研究者）

原 等子

【研究活動】

1. 原著論文 なし

2. その他の論文

- ・村田陽子, 原等子, 吉原悦子, 大郷みさき (2013. 2) : 認知症高齢者グループホーム入居者の排便に関する事例検討. 新潟県立看護大学紀要, 2, 28-32. (査読付 資料)

3. 著書

なし

4. 学会発表

- ・岡崎園美, 中川恵子, 原等子, 橋本明浩 (2012. 9. 27-28) : 拘縮手に対する緑茶葉を用いたハンドケアの検討, 第 43 回 (平成 24 年度) 日本看護学会学術集会 (広島県広島市 広島国際会議場)
- ・瀧澤貞子, 上原喜美子, 原等子 (2013. 2. 21-22) : A 病院看護職員の障害自立度 B・C ランク患者における口腔ケア意識向上への取り組み. 第 28 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 (石川県金沢市)
- ・Okazaki S., Hara N. and Hashimoto A. (2013. 2. 20-22) : "Analyzing the effect of Green Tea tea leaf treatment for hand constructure ", Bangkok, Thailand.

5. その他の研究活動

- ・橋本明浩, 原等子, 田口玲子, 他 5 名 (2012. 4) : 看護職学習支援部門活動報告. 看護研究交流センター活動報告書, 平成 23 年度, 16-25.

【学会等における活動】

- ・日本看護協会 会員 (1989~現在) [日本看護学会論文集 (老年看護) 査読委員 (2009~現在)]
- ・日本老年社会科学会 会員 (1999~現在)
- ・日本老年看護学会 会員 (2002~現在) [第 14 回学術集会査読委員 (2009), 論文査読委員 (2009~現在)]
- ・日本認知症ケア学会 会員 (2004~現在) [評議員 (2010~現在), 認知症ケア専門士 認定試験面接員 (2005, 2009), 論文審査委員 (2005~現在), 1 次試験問題作成委員 (2007~現在), 査読委員 (2007~現在)]
- ・日本口腔ケア学会 会員 (2005~現在) [理事 (2005), 評議員 (2006~現在), 編集委員および査読委員 (2005~現在), 用語委員会 (2009~現在)]
- ・日本老年歯学学会 会員 (2009~現在)
- ・日本静脈経腸栄養学会 会員 (2012~現在)

【社会活動】

- ・公益社団法人「認知症の人と家族の会」 B 会員 (2004 年~現在, 2009 年~新潟支部世話人)
- ・上越市見守りネットワーク委員会委員 (平成 23 年 4 月~)

講演など

- ・看護研究交流センターどこでもカレッジ公開講座 フィジカルアセスメント「腹部」講師, 2012 年 10 月 29 日 13~16 時. 新潟県立看護大学多目的室
- ・漢語研究交流センター出前講座事業 上越市学びの交流館共催 「認知症の人を地域で支える」

第 5 回グループワーク認知症の人を地域で支えるには 原等子, 田中美紀講師. 2012 年 11 月 27 日 14～15 時半, 上越市学びの交流館会議室

【学内教育活動】

学部担当科目

- ・老年看護学 I, II, 演習, 実習
- ・専門ゼミナール I・II

大学院

- ・老年看護学特論 I, II, III, IV
- ・老年看護学特別演習 I, II

【学内委員会等の活動】

- ・教務委員会委員
- ・大学院研究科入学小委員会 副委員長
- ・情報ネットワーク本部委員会 副委員長

【外部資金獲得】

- ・原等子: 認知症の人の口腔機能に関連した苦痛とその緩和に関する研究, 科学研究費補助金 基盤研究 (C) (平成 22 年～24 年: 課題番号 22562599)

飯吉令枝

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

- ・平澤則子, 飯吉令枝(2012): 大学での保健師教育における地域診断の教育方法の課題ー保健師就業中の卒業生のインタビュー調査からー, 新潟県立看護大学紀要, 2, 16-22. (査読有)
- ・井上智代, 片平伸子, 平澤則子, 藤川あや. 飯吉令枝, 高林知佳子(21012): 日本におけるソーシャルキャピタルと健康に関する文献研究, 新潟県立看護大学紀要, 2, 10-15. (査読有)

3. 著書

なし

4. 学会発表

- ・藤川あや, 平澤則子, 飯吉令枝他(2012.9.15): 豪雪過疎地域における介護予防のための高齢者同士の見守り活動の強みと弱み, 第7回日本ルーラルナーシング学会, 長野.
- ・平澤則子, 飯吉令枝, 小林恵子他(2012.9.15): 豪雪過疎地域において地域リーダーの高齢者見守り活動が介護予防に果たす役割, 第7回日本ルーラルナーシング学会, 長野.
- ・飯吉令枝, 平澤則子, 藤川あや他(2012.10.26): 豪雪過疎地域で高齢者を見守る専門職と住民の介護予防のための見守り項目, 第71回日本公衆衛生学会, 山口.
- ・平澤則子, 飯吉令枝(2012.10.26): 大学での保健師教育における地域診断の教育方法の課題ー入職3年以内の保健師の認識ー, 第71回日本公衆衛生学会, 山口.
- ・片平伸子, 井上智代, 高林智子, 平澤則子, 飯吉令枝, 藤川あや(2012.10.24): 日本におけるソーシャルキャピタルと健康に関する文献調査(1)ー対象・主題についてー, 第71回日本公衆衛生学会, 山口.
- ・井上智代, 片平伸子, 高林智子, 平澤則子, 飯吉令枝, 藤川あや(2012.10.24): 日本におけるソーシャルキャピタルと健康に関する文献調査(2)ー測定指標についてー, 第71回日本公衆衛生学会, 山口.

5. その他の研究活動

なし

【学会等における活動】

日本地域看護学会会員, 日本公衆衛生学会会員, 日本看護科学学会会員, 日本在宅ケア学会会員, 聖路加看護学会会員, 日本ルーラルナーシング学会会員, 日本看護協会会員

【社会活動】

- ・妙高市介護保険運営協議会委員 平成18年4月～現在に至る
- ・上越市建築審査会委員 平成20年4月～現在に至る
- ・上越市開発審査会委員 平成23年4月～現在に至る
- ・上越市健康づくり推進協議会委員 平成23年4月～現在に至る
- ・新潟県准看護師試験委員 平成22年4月～現在に至る

【学内教育活動】

[学部]

公衆衛生看護学Ⅱ、地域看護学Ⅲ、地域看護学演習、在宅看護論演習、地域看護学実習、在宅看護論実習、総合実習、専門ゼミナールⅠ、専門ゼミナールⅡ

[大学院]

地域看護学方法論、地域看護学援助展開論、産業看護展開論、地域看護学特別演習、専門分野別課題実習（地域 CNS 該当）、老年看護学特論Ⅲ、老年看護学特論Ⅳ

【学内委員会等の活動】

- ・実習委員会 副委員長
- ・入試広報委員会 委員
- ・災害時看護・支援ワーキング 委員
- ・新潟県立看護大学看護研究交流センター 地域貢献部門長

【外部資金獲得】

- ・飯吉令枝，平澤則子，藤川あや，小林恵子：豪雪地域の介護予防リスクの高い高齢者を早期発見する近隣見守りチェックリストの開発，独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 平成 23～ 25 年度(研究代表者)。

田口玲子

【研究活動】

1. 原著論文

須藤陽子, 内宮律代, 飯田智恵, Simon Elderton, 原 等子, 田口玲子, 山田正実, 井上智代, 橋本明浩 (2012) : 看護師の学び直しプログラム “バーチャル・カレッジ” のシステム開発と課題, バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌, 14(2), 69-75 (査読あり)

2 その他論文

4 学会発表

- ・櫻井信人, 後田 穰, 田口玲子, 境原三津夫 (2012. 6. 29.) : 追いつめられた精神障害者家族の支援についての一考察—親がわが子を死に至らしめた事例より—, 日本精神保健福祉学会第1回学術研究集会, 札幌市
- ・田口玲子, 渡邊岸子, 小田直美, 川又郁子, 小林ミチ子, 佐藤和泉 (2012. 10. 20.) : 身体と心と社会的繋がりへの回復を目指した看護職のための支援講座の実践報告—「看護職のためのホリスティックケアセンター」活動の試み—, 新潟看護ケア研究学会第4回学術集会, 新潟市 (査読あり)
- ・Sudo Yoko, Uchimiya Ritsuyo, Iida Chie, Elderton Simon, Hara Naoko, Taguchi Reiko, Yamada Masami, Inoue Chiyo, Hashimoto Akihiro (2013. 2. 21-22) : The system reconstruction of the “virtual college” recurrent educational program for nurses, The 16th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS), Bangkok, Thailand

5 その他の研究活動

- ・学会自主企画シンポジウムの指定討論者: 田口玲子
企画・司会: 渡邊岸子, シンポジスト: 鈴木紀子, 笠原悦子, 長田京子 (2012. 10. 27.) : 医療・福祉分野におけるコンサルテーションの現状と課題—対話による相互性の実現のために—, 日本カウンセリング学会第45回大会自主企画シンポジウム, 柏市

【学会等における活動】 学会等における活動

- ・新潟看護ケア研究学会 評議員

【社会活動】 社会活動

- ・「ナースのためのホリスティックケアセンター」(NHC) のメンバーとしての活動
(2010年に新潟市を中心とし, 意を同じくする看護専門職者等の10人で立ち上げた組織で, 現在のところボランティアベース。「看護職者による看護職者への心身のサポート」を意図し, 活発な活動を続けている)
- ・新潟県立看護大学看護研究交流センター地域社会貢献部門事業(いきいきサロン)第4回「自分でつくる・自分でまもる健康ライフ」: 講師 (2012. 8. 10.)
- ・田口玲子 (2012) : 「呼吸法」を習慣にしませんか?—看護大からこんにちは—, NOSAI 上越, 88, 6
- ・(社)新潟県砂利砕石協会上越支部安全衛生講習会: 講師 (2012. 10. 5.), 上越市
- ・大学別模擬講義: 講師: 「ストレスとリラクゼーション」(看護学), 新潟県立高田高等学校 (2013. 3. 4.)

【学内教育活動】

<学部>

精神看護学Ⅰ，精神看護学Ⅱ，精神看護学演習，精神看護学実習，総合実習，専門ゼミナールⅠ，専門ゼミナールⅡ

<大学院>

文献購読，看護倫理特論，がん看護学特論Ⅲ

【学内委員会等の活動】

- ・倫理委員会（副委員長）
- ・ハラスメント防止委員会（委員）
- ・教務委員会（委員）（2012.6～）
- ・大学院入学小委員会（委員）
- ・看護研究交流センター看護職学習支援部門（委員）

高林 知佳子

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

- ・ 井上智代, 片平伸子, 平澤則子, 藤川あや, 飯吉令枝, 高林知佳子(2012): 日本におけるソーシャル・キャピタルと健康に関する文献研究, 新潟県立看護大学紀要 2, 10-15. (査読有)

3. 著書

なし

4. 学会発表

- ・ 片平伸子, 井上智代, 高林知佳子, 平澤則子, 飯吉令枝(2012年10月25日): 日本におけるソーシャルキャピタルと健康に関する文献調査(1)-対象・主題について-, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口.
- ・ Takabayashi C. Shimada K. (2012年12月3日): Do Infertile Women and Government Staff Differ in the Evaluation of Infertility-related Support and Web Sites? BIT's International Sciences' 1'st Annual Congress of Gynecology and Obstetrics, China.

5. その他の研究活動

- ・ 新潟県福祉保健部福祉保健課, 新潟県立看護大学(2013): 看護職員県外就業状況等実態調査報告書.

【学会等における活動】

日本公衆衛生学会会員、北陸公衆衛生学会会員、日本看護科学学会会員、日本生殖看護学会会員、ESHRE 会員、日本健康教育学会会員、日本地域看護学会会員

【社会活動】

- ・ ボランティア団体「ストップ性暴力ネットワーク富山 Let's Voice (レッツ ボイス)」メンバー
- ・ 富山地域ストレス研究会ゲートキーパー応用講習会(2013年2月24日、3月10日): コーディネーター

【学内教育活動】

- ・ 学部担当科目
在宅看護論演習、在宅看護論実習、地域看護学Ⅱ、地域看護学Ⅲ、地域看護学演習、地域看護学実習、総合実習、看護研究法、専門ゼミナールⅠ、専門ゼミナールⅡ
- ・ 大学院担当科目
地域看護学方法論、地域看護援助展開論、地域看護学特別演習Ⅰ、地域看護学特別演習Ⅱ、専門

分野別課題実習(地域CNS)、専門分野別課題研究(地域CNS)、看護学領域特別研究

【学内委員会等の活動】

- ・ 学生委員会委員
- ・ 国家試験対策就職委員会委員
- ・ 看護研究交流センター特別研究部門委員
- ・ 看護研究交流センター先駆的学習支援部門委員

【外部資金獲得】

なし

後田 穰

【研究活動】

1. 原著論文 なし

2. その他の論文 なし

3. 著書 なし

4. 学会発表

・櫻井信人、後田 穰、田口玲子、境原三津夫（2012. 6. 29）：追いつめられた精神障害者家族の支援についての一考察－親がわが子を死に至らしめた事例より－，第1回日本精神保健福祉学会，北海道札幌市 北星学園大学

5. その他の研究活動

【学会等における活動】

なし

【社会活動】

立命館大学キャリアアドバイザー

【学内教育活動】

精神看護学Ⅰ，精神看護学Ⅱ，精神看護学演習，精神看護学実習，総合実習，専門ゼミナールⅠ，専門ゼミナールⅡ

【学内委員会等の活動】

入試・広報委員会委員，国家試験就職委員会委員

【外部資金獲得】

なし

片平 伸子

【研究活動】

1. 原著論文

2. その他の論文

片平伸子, 藤川あや, 本田亜起子, 上野まり, 北岡英子, 渡部月子, 廣川聖子(2013):訪問看護ステーションと認知症高齢者グループホームの連携の工科と課題ー訪問看護ステーション管理者の視点からー, 日本地域看護学会, 15(3),70-77. (査読有)

井上智代, 片平伸子, 平澤則子, 藤川あや, 飯吉令枝, 高林知佳子 (2013) : 日本におけるソーシャル・キャピタルと健康に関する文献研究, 新潟県立看護大学紀要, 2, 10-15. (査読有)

片平伸子, 藤川あや, 渡部月子, 上野まり, 北岡英子 (2012) : 認知症高齢者グループホームにおける看護提供の効果と課題ーグループホーム管理者からみたグループホーム所属の看護師と訪問看護師の活動に焦点をあててー, 日本在宅ケア学会誌, 15 (2) , 53-60. (査読有)

片平伸子, 小山眞理子, 大石朋子, 加納佳代子, 岡本典子, 佐藤麗子, 青柳美秀子 (2012) , 看護学生の臨地実習における看護技術の経験と卒業時の看護技術についての自信, 日本看護学教育学会誌, 22 (2) , 65-71. (査読有)

本田亜起子, 片平伸子, 別所遊子, 太田貞司 (2012) : 介護支援専門員からみた経済的問題による高齢者の介護保険サービス利用の手控えー手控えの状況およびその影響と支援ー, 日本地域看護学会誌, 15 (1) , 61-70. (査読有)

3. 著書

4. 学会発表

藤川あや, 平澤則子, 片平伸子, 井上智代 (2013/3/10) : 訪問看護ステーションが行う災害対策に関する全県調査, 第17回日本在宅ケア学会, 茨城.

加賀美亜矢子, 片平伸子 (2012/9/27) : 認知症高齢者グループホームのターミナルケアに関する文献調査, 日本看護学会学術集会 (老年看護) , 広島.

片平伸子, 加賀美亜矢子 (2012/12/1) : 認知症高齢者グループホームにおける医療連携に関する文献調査, 第32回日本看護科学学会学術集会, 東京.

片平伸子, 井上智代, 高林知佳子, 平澤則子, 飯吉令枝, 藤川あや (2012/10/24) : 日本におけるソーシャルキャピタルと健康に関する文献調査 (1)ー対象・主題についてー, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口.

井上智代, 片平伸子, 高林知佳子, 平澤則子, 藤川あや, 飯吉令枝 (2012/10/24) : 日本におけるソーシャルキャピタルと健康に関する文献調査 (2)ー測定指標についてー, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口.

片平伸子, 加賀美亜矢子 (2012/6/24) : 日本における認知症高齢者グループホームに関する研究の動向, 第15回日本地域看護学会学術集会, 東京.

【学会等における活動】

所属学会 : 日本公衆衛生学会、日本地域看護学会、日本看護科学学会、日本在宅ケア学会、日本認知症ケア学会

【社会活動】

平成24年度新潟県看護職員臨地実習指導者講習会「実習指導方法論1 (在宅・地域看護学)」講師
在宅看護研修会「在宅ケアシステム論」講師 (新潟県ナースセンターより依頼)

【学内教育活動】

学部：在宅看護論、在宅看護論演習、在宅看護論実習、地域看護学Ⅲ、地域看護学演習、地域看護学
実習、専門ゼミナールⅠ・Ⅱ、総合実習

大学院：地域看護学特別演習Ⅱ、がん看護援助展開論Ⅰ、老年看護学特論Ⅲ

【学内委員会等の活動】

学生委員会 副委員長（5月～3月）

紀要委員会委員

研究科委員会委員

3年生学年担任

看護研究交流センター地域貢献部門 看護大いきいきサロン 企画運営

災害時看護・支援ワーキンググループ

【外部資金獲得】

平成24年度科学研究費補助金（若手研究B）「小規模多機能型居宅介護における効果的な看護提供」
65万円

平成24年度公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団研究助成
「訪問看護ステーションにおける災害時相互支援ネットワーク構築を目指した実践研究」（研究代
表者）40万円

藤川あや

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

井上智代, 片平伸子, 平澤則子, 藤川あや, 飯吉令枝, 高林, 知佳子 (2013) : 日本におけるソーシャル・キャピタルと健康に関する文献研究, 新潟県立看護大学紀要, 2, 10-15. (査読有)

片平伸子, 藤川あや, 渡部月子, 上野まり, 北岡英子 (2012) : 認知症高齢者グループホームにおける看護提供の効果と課題—グループホーム管理者からみたグループホーム所属の看護師と訪問看護師の活動に焦点をあてて—, 日本在宅ケア学会誌, 15(2), 53-60. (査読有)

3. 著書

なし

4. 学会発表

藤川あや, 平澤則子 (2012/6/23) : 介護支援専門員の訪問看護利用に関する実態と課題, 第15回日本地域看護学会学術集会, 東京.

藤川あや, 平澤則子, 飯吉令枝, 小林恵子, 小林奈緒子 (2012/9/15) : 豪雪過疎地域における介護予防のための高齢者同士の見守り活動の強みと弱み, 日本ルーラルナーシング学会第7回学術集会, 長野.

平澤則子, 飯吉令枝, 小林恵子, 藤川あや, 小林奈緒子 (2012/9/15) : 豪雪過疎地域において地域リーダーの高齢者見守り活動が介護予防に果たす役割, 日本ルーラルナーシング学会第7回学術集会, 長野.

飯吉令枝, 平澤則子, 小林恵子, 藤川あや (2012/10/24) : 介護予防の必要が高い豪雪過疎地域の高齢者を早期発見するための見守り項目の検討—専門職と地域住民へのグループ・インタビューより—, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口.

片平伸子, 井上智代, 高林知佳子, 平澤則子, 飯吉令枝, 藤川あや (2012/10/24) : 日本におけるソーシャルキャピタルと健康に関する文献調査(1)—対象・主題について—, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口.

井上智代, 片平伸子, 高林知佳子, 平澤則子, 藤川あや, 飯吉令枝 (2012/10/24) : 日本におけるソーシャルキャピタルと健康に関する文献調査(2)—測定指標について—, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口.

藤川あや, 平澤則子, 片平伸子, 井上智代 (2013/3/10) : 訪問看護ステーションが行う災害対策に関する全県調査, 第17回日本在宅ケア学会, 茨城.

5. その他の研究活動

【学会等における活動】

日本地域看護学会会員、日本在宅ケア学会会員、日本看護科学学会会員、日本公衆衛生学会会員、日本ルーラルナーシング学会会員、日本看護研究学会会員

【社会活動】

なし

【学内教育活動】

地域看護学Ⅱ、地域看護学Ⅲ、地域看護学演習、在宅看護論演習、地域看護学実習、在宅看護論実習

【学内委員会等の活動】

国家試験対策・就職委員会委員、FD委員会委員

新潟県立看護大学「看護研究交流センター」地域課題研究開発部門メンバー

【外部資金獲得】

平成 23-25 年度 基盤研究 (C) 「豪雪過疎地域に暮らす高齢者の介護予防のための近隣見守りチェックリストの開発」(研究代表者:飯吉令枝) 直接経費 270 万円

平成 24 年度公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団研究助成「訪問看護ステーションにおける災害時相互支援ネットワーク構築を目指した実践研究」(研究代表者:片平伸子) 40 万円

公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団 2012 年度(後期)一般公募在宅医療研究への助成「職場交換研修を取り入れた地域内専門職教育の効果と課題」(研究代表者:藤川あや) 835,400 円

櫻井信人

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

1) 須藤しおり, 田中愛美, 辻岡まゆみ, 内藤知佐子, 櫻井信人 (2013) : 家族へのアンケート調査から得られたプレパレーションの効果と今後の展望—自宅での使用を推奨した採血パンフレットの作成と配布の試み—, 日本看護学会論文集小児看護, 43号, 66-69. (査読有)

2) 田中愛美, 須藤しおり, 辻岡まゆみ, 櫻井信人, 内藤知佐子 (2013) : 小児外来に通院する患児の家族を対象とした採血の説明に対する意識調査—プレパレーションツールに採血パンフレットを導入して—, 日本看護学会論文集小児看護, 43号, 62-65. (査読有)

3. 著書

なし

4. 学会発表

1) 石田美喜子, 八木智春, 櫻井信人 (2012年10月9日), 精神科看護師の患者に対するコミュニケーションの実態調査, 第1回日本精神科医学会学術大会, 大阪.

2) 櫻井信人 (2012年9月15日), 自死遺族支援グループの参加者のニーズ—活動を通しての検討—, 第36回日本自殺予防学会, 東京.

3) 須藤しおり, 田中愛美, 辻岡まゆみ, 内藤知佐子, 櫻井信人 (2012年9月14日), 家族へのアンケート調査から得られたプレパレーションの効果と今後の展望—自宅での使用を推奨した採血パンフレットの作成と配布の試み—, 第43回日本看護学会小児看護, 島根.

4) 田中愛美, 須藤しおり, 辻岡まゆみ, 櫻井信人, 内藤知佐子 (2012年9月14日), 小児外来に通院する患児の家族を対象とした採血の説明に対する意識調査—プレパレーションツールに採血パンフレットを導入して—, 第43回日本看護学会小児看護, 島根.

5) 櫻井信人, 後田穰, 田口玲子, 境原三津夫 (2012年6月29日), 追いつめられた精神障害者家族の支援についての一考察—親がわが子を死に至らしめた事例より—, 第1回日本精神保健福祉学会学術集会, 札幌.

5. その他の研究活動

なし

【学会等における活動】

日本精神保健看護学会, 日本法医学学会, 日本看護協会, 日本精神保健福祉学会

【社会活動】

妙高市こころと命のネットワーク会議委員

自死遺族支援グループはじめの会スタッフ

【学内教育活動】

精神看護学Ⅰ, 精神看護学Ⅱ, 精神看護学演習, 精神看護学実習, 総合実習, 専門ゼミナールⅠ, 専門ゼミナールⅡ

【学内委員会等の活動】

実習委員会委員, FD委員会委員, 看護職学習支援部門構成員

【外部資金獲得】

櫻井信人 : 平成23年度~25年度、科学研究費補助金(若手研究(B))、課題番号23792722

角山 裕美子

【研究活動】

1. 原著論文

2. その他の論文

3. 著書

4. 学会発表

5. その他の研究活動

- ・外来化学療法を受ける高齢がん患者のセルフケアに関する調査活動（H25.1～）

【学会等における活動】

日本老年看護学会、日本看護科学学会、日本がん看護学会、日本看護研究学会、北日本看護学会、日本認知症ケア学会（会員）

【社会活動】

【学内教育活動】

- ・老年看護学Ⅱ、老年看護学演習、老年看護学実習、専門ゼミナール、総合実習

【学内委員会等の活動】

- ・学生委員会委員、保健指導員

【外部資金獲得】

加賀美 亜矢子

1. 研究活動

(1) 原著論文

(2) その他の論文

(3) 著書

(4) 学会発表

- ・ 片平伸子, 加賀美亜矢子 (2012/12/1) : 認知症高齢者グループホームにおける医療連携に関する文献調査, 第 32 回日本看護科学学会学術集会, 東京.
- ・ 加賀美亜矢子, 片平伸子 (2012/9/28) : 認知症高齢者グループホームのターミナルケアに関する文献調査, 日本看護学会学術集会 (老年看護), 広島.
- ・ 片平伸子, 加賀美亜矢子 (2012/6/24) : 日本における認知症高齢者グループホームに関する研究の動向, 第 15 回日本地域看護学会学術集会, 東京.

(5) その他の研究活動

2. 学会などにおける活動

- ・ 日本看護学会 (老年看護) 学術集会 交流集会, 「認知症看護認定看護師と考えよう!」, 広島国際会議場, 広島市. (2012 年 9 月 28 日)

[所属学会]

日本老年看護学会 日本看護科学学会 日本地域看護学会 日本認知症ケア学会

3. 社会活動

- ・ 認知症看護認定看護師としての活動
 - ・ 公益社団法人 認知症の人と家族の会 新潟県支部 家族のつどい
 - ・ 上越地域医療センター 認知症検討委員会
 - ・ 認知症の看護・介護についての研修
 - ・ さくらメディカル株式会社 (介護部約 100 名) 認知症の人の気持ちに寄り添った認知症ケアの実践 (90 分), 上越市市民プラザ, 上越市. (2012 年 7 月 9 日)
 - ・ 直江津学びの交流館連携事業, 「認知症の理解・支援を学ぶ - 第 3 回 認知症の人の対応の仕方 - 直江津学びの交流館 多目的ホール, 上越市. (2012 年 11 月 13 日)

4. 学内教育活動

- ・ 学部 : 老年看護学Ⅱ・老年看護学演習・老年看護学実習・総合実習・専門ゼミナールⅠ・専門ゼミナールⅡ
- ・ 大学院 : 老年看護学演習Ⅱ

5. 学内委員会等の活動

- ・ 実習委員会委員
- ・ 入試・広報委員会委員 (10 月～3 月)

6. 外的資金獲得

- ・ 認知症高齢者の排便状況に関連した行動心理症状を予防する施設ケアの検討, 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金 若手研究 (B) (平成 24 年～26 年 : 課題番号 24792571)

井上 智代

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

井上智代, 片平伸子, 平澤則子, 藤川あや, 飯吉令枝, 高林, 知佳子 (2013) : 日本におけるソーシャル・キャピタルと健康に関する文献研究, 新潟県立看護大学紀要, 2, 10-15. (査読有)

3. 著書

なし

4. 学会発表

藤川あや, 平澤則子, 片平伸子, 井上智代 (2013/3/10) : 訪問看護ステーションが行う災害対策に関する全県調査, 第17回日本在宅ケア学会, 茨城.

片平伸子, 井上智代, 高林知佳子, 平澤則子, 飯吉令枝, 藤川あや (2012/10/24) : 日本におけるソーシャル・キャピタルと健康に関する文献調査 (1) -対象・主題について-, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口.

井上智代, 片平伸子, 高林知佳子, 平澤則子, 藤川あや, 飯吉令枝 (2012/10/24) : 日本におけるソーシャル・キャピタルと健康に関する文献調査 (2) -測定指標について-, 第71回日本公衆衛生学会総会, 山口.

5. その他の研究活動

なし

【学会等における活動】

- ・日本思春期学会 (会員)
- ・日本公衆衛生学会 (会員)
- ・日本民族衛生学会 (会員)
- ・日本保健福祉学会 (会員)
- ・日本老年社会科学会 (会員)
- ・日本看護研究学会 (会員)
- ・日本母性衛生学会 (会員)
- ・日本在宅ケア学会 (会員)
- ・日本地域看護学会 (会員)

【社会活動】

- ・国立病院機構 新潟病院研究指導
- ・社会福祉法人大石福祉会 評議員
- ・長岡市男女平等センター ウィルながおか 専門相談員

【学内教育活動】

<看護学部>

- ・地域看護学Ⅱ

- ・地域看護学Ⅲ
- ・地域看護学演習
- ・在宅看護論演習
- ・地域看護学実習
- ・在宅看護論実習
- ・総合実習

【学内委員会等の活動】

- ・研究推進委員会：委員
- ・看護研究交流センター看護職学習支援部門：部門員

【外部資金獲得】

- ・平成 24 年度公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団研究助成
「訪問看護ステーションにおける災害時相互支援ネットワーク構築を目指した実践研究」40 万円
(研究責任者 片平伸子)

安藤 亮

【研究活動】

1. 原著論文

なし

2. その他の論文

なし

3. 著書

なし

4. 学会発表

・中島成己, 内田陽子, 安藤亮, 他 (2012). 認知症高齢者に対する歌・書道・絵画療法の総合的アクティビティケア実践と評価(その1) グループホームでのアウトカムを高めるケア. 日本認知症ケア学会誌(静岡)11(1):402.

・川久保悦子, 内田陽子, 中島成己, 安藤亮, 他 (2012) 認知症高齢者に対する歌・書道・絵画療法の複合的アクティビティケア実践と評価(その2) 芸術作品の評価表の信頼性の検討. 日本認知症ケア学会誌(静岡)11(1):290.

5. その他の研究活動

なし

【学会等における活動】

【社会活動】

【学内教育活動】

【学内委員会等の活動】

【外部資金獲得】

野口裕子

【研究活動】

なし

【学会等における活動】

日本地域看護学会（会員）、日本公衆衛生学会（会員）、日本看護科学学会（会員）、
日本災害看護学会（会員）、日本子どもの虐待防止学会（会員）

【社会活動】

なし

【学内教育活動】

【学部】 地域看護学実習・在宅看護論実習

【学内委員会等の活動】

なし

【外部資金獲得】

なし

川里 庸子

【研究活動】

1. 原著論文

2. その他の論文

3. 著書

4. 学会発表

・川里庸子, 粟生田友子, 長谷川真澄他 (2012年7月14~15日) : 一般病院の高齢せん妄発症者における主観的環境認知の特性 (第2報) -せん妄発症に関する看護師への聞き取り調査から-, 第17回日本老年看護学会学術集会, 石川.

・粟生田友子, 長谷川真澄, 川里庸子他 (2012年7月14~15日) : 一般病院の高齢せん妄発症者の入院環境とその主観的環境認知の特性 (第1報) -高齢せん妄発症者への主観的環境認知に関する質問紙法の可能性の検討を含めて-, 第17回日本老年看護学会学術集会, 石川.

・長谷川真澄, 粟生田友子, 鳥谷めぐみ, 川里庸子他 (2012年11月30日~12月1日) : せん妄ケアリーダーからみた一般病棟のせん妄ケアにおける課題, 第32回日本看護科学学会学術集会, 東京.

5. その他の研究活動

【学会等における活動】

【社会活動】

【学内教育活動】

【学内委員会等の活動】

看護研究交流センター 地域社会貢献部門メンバー

【外部資金獲得】